

平成26年第1回教育委員会定例会日程

日 時 平成26年1月29日（水）午後1時30分

場 所 北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

追加議案書

5 協議事項

- ・土曜授業について（追加）資料5
- ・平成26年度教委員会関係予算の協議について
 - ・教育力向上事業について資料6
 - ・大栄中学校プール改築のあり方について資料7

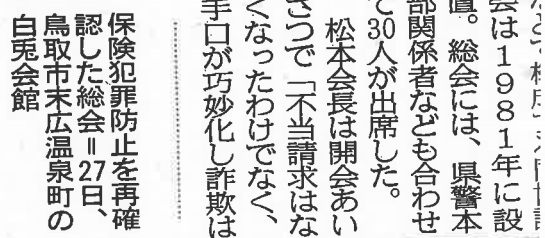
6 報告事項

- ・平成25年度教育行政評価（内部評価）の実施について . . 別冊
- ・平成25年度後期計画訪問の記録について資料8
（保育所・こども園・小・中学校）
- ・教育関係施設の長期的改修計画について資料9

者の受け入れが可能。施設は限定される。共同生活の場となる。ケアホームも東部と西部に各1カ所しかなく、医療機関から在宅へ移行が思つように進んでいない実態もある。医療ケアが必要な

県はこうした課題に検討してゐるか県に前
対処するため、重症児
・者の受け入れを進め
る事業所に対し、国が
定める自立支援給付費
に補助金を上乘せして
給付。施設改修時の補
助も行い、日中の「居
場所づくり」を進める
ことで保護者の負担軽
減も図る。また、県内
3カ所の医療機関と連
携して短期入所できる
病床も確保する。

県障がい福祉課の日
野力課長は「重心児・
者の受け皿が地域に広
がれば、家族の負担軽
減につながる。看護
師や介助員などマンパ
ワーの確保・充実も今
め、引き続き支援体制
を強化していきたい」と
している。



【『本誌』】 昭和二十二年
小川政裕氏（日本損害保
協会中国支部事務局長）
々木真二氏（日本新聞
キ執行役員営業担当）
秀夫氏（同大阪支店長）
江健次朗氏（同営業部課
川下浩美氏（マンパワ
ループ鳥取支店長）北
治氏（クラブウオーク代
森本秀樹氏（穴吹工務
當戦略部長 篠原健司氏
事業推進統括部係長）
喜包氏（同岡山支店長
村誠氏（サーパス鳥取
式番館チーフマンシヨ
ドバイザー）
【中部本社】 新任あ

保険犯罪防止を再確
認した総会 27日、
鳥取市末広温泉町の
白兔会館

つ
本庄

王勳氏（旭東電

鳥取県と県教委が検討を進めてきた新年度からの教育に関する協約案の一部内容に対し、不満を募らせた西部で1校ずつ実施すべきだと注文を付けた。

学校によつて方法はある
教委は指導性を發揮してほ
しい」と厳しく求めた。

敬あいさつ 桑本始氏
東電気局取事業所顧問
【西部本社】表敬を
つ 真田武氏（ヤ）
会・米子会員 新宮啓
（同）宇山透氏（東大）
取締役 安藤祐三氏

平井知事が不満爆発

「教委は指導性発揮を」

「土曜授業」について県立 県と県教委、有識者らで っと踏み込んでほしい」と 委はいらない。（土曜授業
高校1校と5地域が導入を 議論したのは、学びの質の 不満を漏らし、実施する学 の実施は）娑婆の声だ」と
検討しているが、27日の会 向上やいじめ・不登校対策 校や地域の少なさにヒート まくし立て、実施校など指
議で「やるならやるで市町 などの活動方針を盛り込ん アップ。「教員OBの活用 標の見直しを指示した。
村に徹底させればいい。再 だ計16項目の教育協約案。 などやるうと思えば地域・

社長) 原清剛氏(同業本部長) 細見法之營業本部營業部營業

【東京支社】表敬

つ 野坂裕一氏(おはつ社長)

新年度の教育協約案を議論
する出席者ら 27日、鳥取
市の県立図書館



「土曜授業」実施検討少ない

H26.1.28

鳥取県の子どもたちの未来のための教育に関する協約

鳥取県知事と鳥取県教育委員会は、互いに協力して、子どもたちが豊かな未来を切り拓いていくことができるよう、市町村や保護者、県民の皆さんと一緒に、子どもたちの未来のための教育振興施策（以下「施策」という。）に取り組んでいきます。

1 子どもたちの未来のための教育振興施策

私たちは、鳥取県教育振興基本計画に基づき施策を推進します。平成26年度においては、特に次の取組に重点的に取り組み、着実な成果を目指します。

全国に誇れる学力を目指す「学びの質の向上」

- (1) グローバル化に対応した教育環境づくりや2020年の新学習指導要領の完全実施に対応するため、英語科教員の指導力を向上するとともに、イングリッシュシャワールームの拡大などにより、子どもたちの外国に対する興味関心と英語力を高めます。
- (2) 鳥取県幼児教育振興プログラムに基づく「幼保小連携カリキュラム」の活用を全県に広げ、幼稚園・保育園・認定こども園等における教職員の指導力向上や小学校教育との連携による小学校との円滑な接続等、幼児教育の充実に取り組みます。
- (3) 校種や地域を超えた鳥取発スクラム教育を全県で展開します。
 - ・小学校から中学校までの9年間を通じた、学力向上につながる授業改革を推進します。
 - ・中学校から高等学校の学習内容の定着と応用力を伸ばす教科指導の体制をつくります。
 - ・エキスパート教員を活用し、中学校区等での学校の枠を超えた指導や教員が互いに学びあう風土を作るための中核教員の養成など、教員の指導力の向上に取り組みます。
- (4) 県立高校において土曜授業に取り組むとともに、学校法人や小中学校における土曜授業の取組を後押しし、地域の実情を踏まえた多様な形態による子どもたちの、より豊かな学びと成長を図る取組を進めます。
- (5) 子どもたちの自由な発想による自主的な企画の活動や、既存の枠を超えた創意工夫あふれる活動に対する支援や、学習意欲や夢を実現する意欲を高める仕掛けづくりに取り組みます。
- (6) ICT教育の推進のため「ICT活用教育推進協議会(仮称)」を設立し、ICTを活用した授業の設計や、協調学習の充実等による21世紀スキル獲得のための教員のICT活用指導力の向上等に取り組みます。
- (7) 市町村と協力しながら、PTAや地域での保護者の交流を促進し、家庭教育に関する情報提供や相談対応、学習機会のコーディネートなど、地域の実情に応じた家庭教育支援体制の強化に取り組みます。

安心して通学できる学校づくり「いじめ・不登校対策」

- (8) いじめ防止対策推進法に基づき、学校、教育委員会、知事部局、その他いじめ問題に関係する機関・団体の連携を図る「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、総合的ないじめ防止対策に取り組みます。
- (9) いじめの未然防止につなげるための全県を対象としたフォーラムにおいて、児童生徒によるいじめ防止活動の発表や、ポスター等の展示など、参加型による主体的ないじめ防止の取組を充実します。

- (10) 学校だけでは解決が困難な不登校への対応やいじめやの解決に向けて、スクールソーシャルワーカーとして必要な知識、技能を持った人材の育成、確保に取り組みます。
- (11) インターネット端末の急速な普及の中で、児童・生徒の健全な成長が損なわれることのないよう、保護者や地域住民が行う学習会への講師派遣を行うとともに、低年齢の乳幼児期からのメディアとの正しいつきあい方についても教育啓発を行います。

一人一人のニーズに対応した「特別支援教育の充実」

- (12) 教職員の手話技術の向上や手話教育推進コーディネーターの配置など、教育面における手話に関する環境整備に取り組みます。
- (13) 関係機関と連携した障がいの早期発見、早期支援を行う取組を進めるとともに、理学療法士等の配置により特別支援学校の専門性を強化することで、地域の学校への支援体制強化に取り組みます。
- (14) 発達障がいのある児（者）の保護者への情報提供、及び県民の皆様への発達障がいに対する理解・啓発を行い、本人と保護者が地域で安心して暮らせる体制づくりを推進します。

健やかな体と心と夢を育てる「スポーツ・文化芸術活動の振興」

- (15) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、トップアスリートと子どもたちがふれあう機会の創出やジュニア層の選手強化、国内外トップチームのキャンプ招致などに取り組みます。
- (16) 障がい者芸術文化祭への参加支援などによる障がいのある子どもたちの文化活動の活性化と、文化芸術活動を通じた健常者と障がいのある人との交流の機会の拡大に取り組みます。

2 施策の着実な推進

私たちは、随時協議を行いながら施策の進行状況や効果を把握し、着実な推進に努めます。

3 課題への迅速な対応

私たちは、協議の過程で新たな課題が生じた場合は、迅速に対応していきます。

4 県民や現場の声の反映

私たちは、教育に対する県民の願いや想い、現場の声を大切にして施策に反映させます。

5 県民の皆さんの期待と信頼に応える教育現場の実現

私たちは、教育現場でのコンプライアンスの確立、体罰の防止に向けて、責任感と誇りを持った教職員の育成に努めます。

6 平成27年度の施策への展開

私たちは、実施した事業の検証を行いながら、平成27年度以降のよりよい施策につなげていきます。

平成26年3月 日

鳥取県知事

平井伸治

鳥取県教育委員会委員長 中島諒人

平成 26 年度協約 指標一覧

全国に誇れる学力を目指す「学びの質の向上」	
指 標	目 標 値
・全国学力・学習状況調査の正答状況、質問紙における回答状況等から設定したもの (詳細は別紙のとおり)	全ての指標で前年度数値を上回る
・イングリッシュシャワールームの数	6 箇所
・学校を超えて活動するエキスパート教員数	5 名
・スクラム教育で中学校との連携の核となる県立高等学校数	6 校
・土曜授業に取り組む県立高等学校、地域数（予算的な支援）	1 校、5 地域
・教員が児童・生徒の I C T 活用を指導する能力	63.7%

安心して通学できる学校づくり「いじめ・不登校対策」	
指 標	目 標 値
・不登校の出現率	全国平均を下回ると共に、低減
・学校いじめ防止基本方針の策定状況	100%

一人一人のニーズに対応した「特別支援教育の充実」	
指 標	目 標 値
・中学校から高等学校への個別の教育支援計画の引継率	71.8%
・教育センターが開催する基本研修において手話の普及に取り組む割合	100%

健やかな体と心と夢を育てる「スポーツ・文化芸術活動の振興」	
指 標	目 標 値
・鳥取県体力・運動能力調査結果の総合判定(A～Eの5段階)が、A又はBの割合	(小5男)50.0% (小5女)55.0% (中2男)50.0% (中2女)65.0%
・国民体育大会で入賞(8位以内)する種目数及び人数	種目数 50 種目
	人数 120 人
・文化・芸術、スポーツ等の分野で、全国で活躍する児童・生徒数(全国3位以上)	60 人

[全国学力・学習状況調査等から設定する指標の状況]

学力調査の状況	
①全国学力・学習状況調査の実施教科において、最上位層の割合が全国の割合を上回り、最下位層の割合が全国の割合を下回る	
②全国学力・学習状況調査で過去の問題と同一趣旨の問題のうち、正答率が全国平均を上回った割合	
③全国学力・学習状況調査で記述式の問題のうち無解答率が全国平均以下であった割合	
④各校が設定した指標について、各校が達成したと評価する割合	
学び方の質・学習状況	
⑤意欲、授業に向かう姿勢	
◆「身に付けた知識・技能や経験を生活の中で活用できないか考える」児童生徒の増加（算数・数学）	
◆「授業の中で『わかった』、学んだことについて『もっと知りたい』と感じる」児童生徒の増加	
◆「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加	
◆「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」学校、教員の増加	
⑥体験活動・読書活動の実施状況	
◆「授業で体験的な学習を取り入れている」学校の増加	
◆「全校一斉読書に取り組む」学校の増加	
◆「読書が好きである」児童生徒の増加	
⑦家庭における学習等の状況	
◆「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加	
◆「進んで取り組んでいることをほめている」保護者の増加	
◆「児童生徒に対する国語・算数（数学）の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加	
豊かに生きる共に生きる力の状況	
⑧自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識	
◆「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の増加	
◆「ボランティア活動に参加している」児童生徒の増加	
⑨進路に向けた意識	
◆「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加	
◆「『あの人のようになりたい』と思う人がいる」児童生徒の増加	
◆「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加	
⑩地域社会への参画状況	
◆「地域の行事に参加している」児童生徒の増加	
◆「地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）から褒められたことがある」児童生徒の増加	

子育て、学力向上 意見集中

保育料、県が永続支援

土曜授業 首長決断を後押し

県・市町村行政懇談会

鳥取県と県内19市町村の首長が新年度の施策展開を話し合う「県・市町村行政懇談会」が22日、県庁であり、子育てや学力向上対策などの分野で意見を交わした。特に、中山間地の移住定住対策として新年度から保育料無償化に取り組み市町村を県が支援する事業、土曜授業の実現に向けては、各市町村長から意見が集中した。

保育料無償化

県が新年度予算で検討中の中山間地域市町村

村保育料無償化モデル事業は、第一子から保育料の無償化や軽減を

「自治体間の競争がある」ともいいと選択式

を歓迎。既に事業活用の方針を固めている小

林昌司若松町長は「移住定住を検討している

人から子育て支援策をよく聞かれる」とし、

移住定住促進の効果期待できると語った。

一方、影山享弘日野町長は「子育てしやすい環境は作りたいが、

子育ては親の責任。一気に無償化に進むより

軽減するのがベター。無償化は国策ですべき

だ」と県の姿勢に懐疑的な見方を示した。

こうした意見に、平

井伸治知事は「保育料を無償でなく、低減する市町村も応援する」と述べ、「県が永続的に支援するのか」という市町村側の問い掛けには「そのようにしたい。県もそれができるだけの財政改善はしてきた」と支援継続を約束した。

土曜授業

学力向上対策の一環で県教委が新年度からモデル校を募集する。

「やる」と思っていると現場の理解が必要」（宮脇正道湯梨浜町長）

「やりたい」と思っているが町教委の頭が固

い」（松本昭夫北栄町

長）など、複数の首長が教委の理解を得られ

るかがネックになっていることを吐露した。

これに対し、平井知事は「教育分野も風向きが変わってきた。土曜授業などは首長のリーダーシップ、意思表示をしていくことが大切」と首長の決意次第だと強調した。

榎本武利岩美町長は全県一斉の土曜授業導入を提案したが、県教委の横浜純一教育長は学校を設置する市町村教委が判断すべきだとした上で、「やっていたらどこには県教委も後押しする」と首長の決断を促した。

婚活事業

このほか、国が少子化問題に対応するため

補正予算に盛り込んだ

地域少子化対策強化交付金（約30億円）の積極活用を求める県に

対し、竹内敏朗江府町長は「一番の課題は出会いをどう作るか」、

石操日吉津村長は「結婚や妊娠、出産には県の役割も求められる。

内」に開所した。センターは大会に向けて準備や運営に関わるボランティアを県民から募集

したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

国はガードが強い」と述べ、県独自での婚活支援メニューを検討したい意向を示した。

知事定例記者会見（2013 年 10 月 25 日）

（質疑事項）

16 土曜日授業の実施についての考え方

○読売新聞 加藤あかね 記者

すみません、土曜日授業なんですけれども、他府県でも前からやっておられたりするところもありますけれども、改めて鳥取県で土曜日授業をしたいと、モデル的にでもですね、思われる理由と、どんな形態を考えておられるのかというのを、もう一度ちょっと教えていただきたいんですけれども。

●知事

やはり子供たちのことを考えて、地域でできることをしていかなければいけないと思います。土曜日授業はかつてもやっていたわけでありまして、当たり前といえば当たりの話でありましたが、それがなくなったことで、片方で土日をクラブ活動なり、あるいは家族の時間として使うなり、いい面もあったと思います。ただ、片方で、例えばもともとキャッチアップのときの補習のような時間が欲しいとか、それから社会と接するような、そういう時間帯が欲しいとか、いろんな要求を満たそうと思いますと、どうも今月から金だけでなく、もう半日も土曜日があったほうがよかったのではないかと、こんな声もあるわけですね。ですから、地域としてその辺を選択してやっていって、自分のところにふさわしい教育システムを導入してもいいんじゃないかと思います。これは子供たちのために考えることであります。

それに踏み切られるところがあれば、その学校の取り組みを県としても支援をするというようなことをやってはどうかなと思うんですが、どうしてもそこはカリキュラムの問題がありますので4月から本格始動でしょうが、まずはこの年度末に向けて準備をしてもらって、そういう準備経費ぐらいいは11月補正〔予算〕で検討してもいいんじゃないだろうかというふうに考えております。

○読売新聞 加藤あかね 記者

具体的にいうと、そうすると、それはあくまでも教育委員会のお話ということで、民間の方を招いてするとか、そういう形態のものではないということですか。

●知事

いや、そこはいろいろ、どうも地域によってお考えがあると思います。今でもそれに近いようなことをやっているところもないわけでもございませんし、地域の行事としてですね。そういう意味で、社会人の方が参画をするような形のところもあるかと思います。逆に学業だとか体育だとか文化活動だとか含めて、学校教育を強化をするという方向での土曜日授業の設定もあると思います。その辺は地域でバランスよく選択されるのではないかなと思っていまして、まずはそういう踏み切る動きをつくらなきゃいけないので、その踏み切られる学校に対するサポートを組んでいきたいと思います。

○読売新聞 加藤あかね 記者

これは教育長も合意の上で、共同でというか、されるということですか。

●知事

予算要求元は教育委員会になってもらわないといけませんので、先般もそういった土曜日授業の設定について話し合いをさせていただきました。

○日本海新聞 北尾雄一 記者

関連して、このモデル校もしくはモデル地域は、どれぐらいの対象地域を予定というか、想定されていますでしょうか。

●知事

ちょっと今当たってもらっていますが、爆発的に多いほどではありません。例えば高等学校で1校とか、中小で数校とか、そういうレベルではないかなと思いますが、我々としては、そういうことで手を挙げられるところがあれば、歓迎したいと思います。

○「土曜日授業」について (教育連絡会)

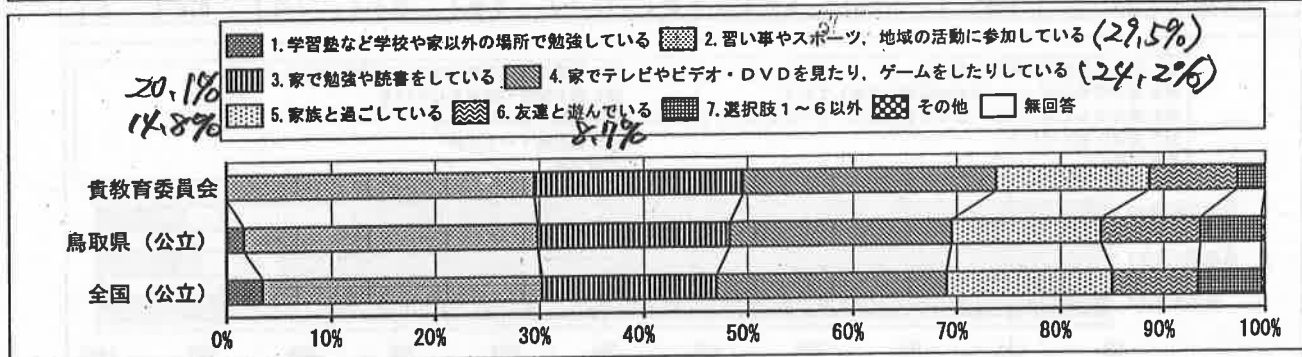
① 北栄町の現状

- ・ 1月6日の教育連絡会で各学校の意向を聞き取り
 - 実施については地教委の判断にゆだねられているが、必要があつて、国で週5日制度を進め、地域では土曜日の環境づくりを進めてきたが、その方針はどうなったのか。
(実施をするならば、法の整備が必要では)
 - 現在の授業日数で教育課程を修了できているので増やす必要はない。
 - 土曜日授業に関して、その理念より土曜日授業をすることそのものが重要視されているように感じる。
 - すでに土曜日に活動をしている団体がある。
 - 教職員の休暇の振替が長期休業中になることが予想されるが、現状では難しい。振替そのものがない。

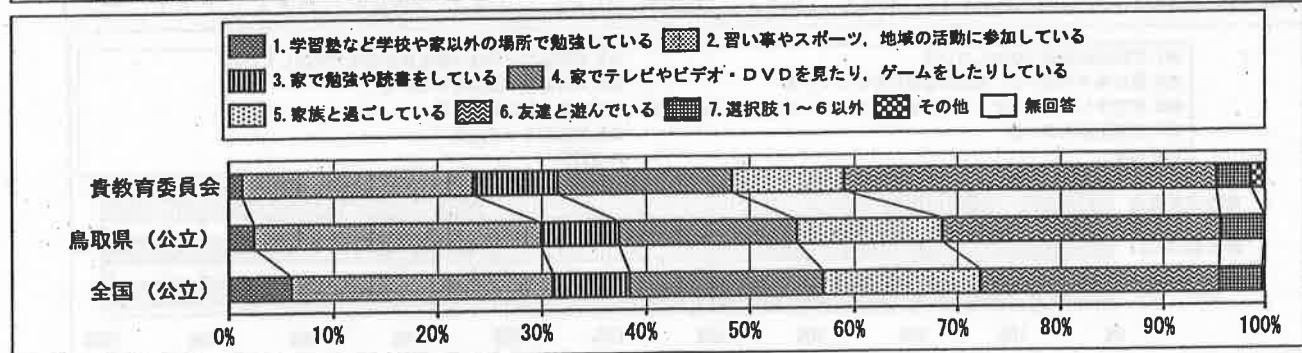
回答結果集計 [児童質問紙]

北栄町教育委員会－児童

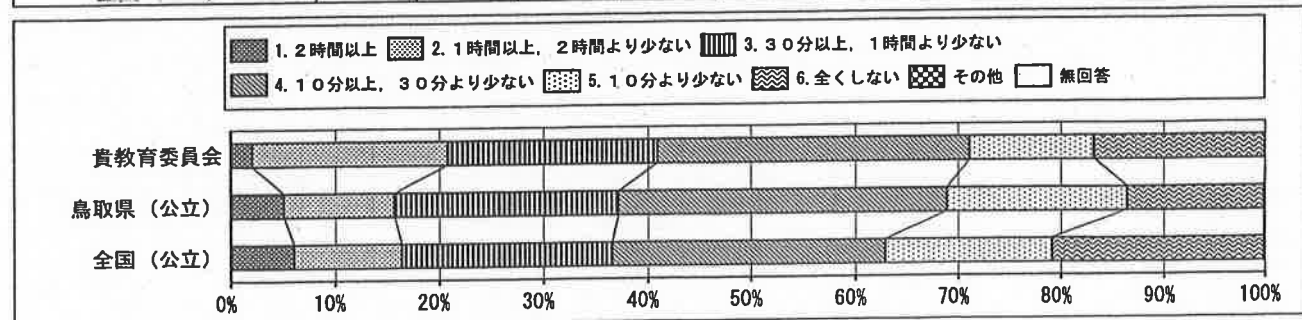
質問番号			質問事項									
I	II	III										
(18)	(16)	(26)	土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか									
選択肢			1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴教育委員会			0.0	29.5	20.1	24.2	14.8	8.7	2.7		0.0	0.0
鳥取県（公立）			1.7	28.1	18.5	21.2	14.4	9.7	6.0		0.4	0.0
全国（公立）			3.4	26.8	16.8	22.0	16.0	8.4	6.2		0.3	0.0



質問番号			質問事項									
I	II	III										
(19)	(17)	(27)	土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか									
選択肢			1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴教育委員会			1.3	22.1	8.1	16.8	10.7	36.2	3.4		1.3	0.0
鳥取県（公立）			2.4	27.5	7.5	17.1	14.0	27.1	4.3		0.3	0.0
全国（公立）			6.0	25.0	7.4	18.6	15.2	23.3	4.2		0.3	0.0



質問番号			質問事項									
I	II	III										
(20)	(18)	(28)	家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）									
選択肢			1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴教育委員会			2.0	18.8	20.1	30.2	12.1	16.8			0.0	0.0
鳥取県（公立）			5.1	10.6	21.5	31.7	17.5	13.5			0.0	0.0
全国（公立）			6.1	10.3	20.2	26.3	16.2	20.8			0.1	0.0

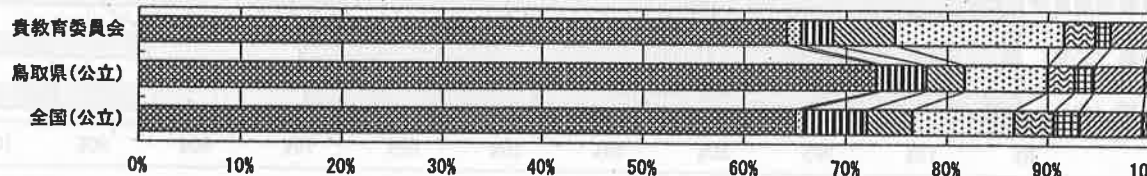


回答結果集計 [生徒質問紙]

北米町教育委員会－生徒

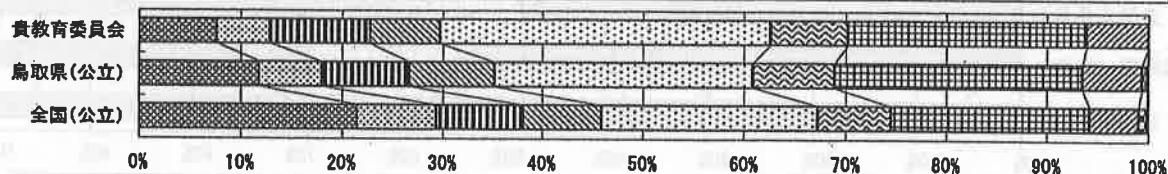
質問番号			質問事項								
I	II	III									
(18)	(16)	(26)	土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか								
選択肢			1	2	3	4	5	6	7	8	その他 無回答
貴教育委員会			64.1	1.5	3.1	6.1	16.8	3.1	1.5	3.8	0.0 0.0
鳥取県(公立)			72.9	0.6	4.4	3.8	8.2	2.6	2.0	4.9	0.5 0.0
全国(公立)			65.2	0.8	6.2	4.5	10.2	3.9	2.5	6.2	0.6 0.1

- ☐ 1. 学校の部活動に参加している
☐ 2. 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
☐ 3. 習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
☐ 4. 家で勉強や読書をしている
☐ 5. 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしている
☐ 6. 家族と過ごしている
☐ 7. 友達と遊んでいる
☐ 8. 選択肢1～7以外
☐ その他
☐ 無回答



質問番号			質問事項								
I	II	III									
(19)	(17)	(27)	土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか								
選択肢			1	2	3	4	5	6	7	8	その他 無回答
貴教育委員会			7.6	5.3	9.9	6.9	32.8	7.6	23.7	6.1	0.0 0.0
鳥取県(公立)			11.8	6.2	8.7	8.5	25.6	8.1	24.6	5.8	0.6 0.1
全国(公立)			21.5	7.9	8.7	7.9	21.3	7.2	19.8	4.8	0.9 0.1

- ☐ 1. 学校の部活動に参加している
☐ 2. 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
☐ 3. 習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
☐ 4. 家で勉強や読書をしている
☐ 5. 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしている
☐ 6. 家族と過ごしている
☐ 7. 友達と遊んでいる
☐ 8. 選択肢1～7以外
☐ その他
☐ 無回答



平成24年度放課後子ども教室推進事業子どもほくえい塾

1 目 的

平成16年度から21年度まで継続実施してきた地域こども教室推進事業「地域教育再生プラン」により、こどもたちのより安全な居場所づくり、体験活動に取り組める居場所を中央公民館・中央公民館大栄分館に求め、ふるさと北栄町を舞台に、放課後や週末、長期休業中などの様々な体験活動を、町民有志ボランティアの指導協力によって行ってきた。平成22年度以降もこれを中央公民館大栄分館において継続し、地域子ども達を地域の大人が見守り、育て、ふるさと北栄町に愛着を持つ健全な青少年を育成するとともに、地域の大人たちのこれまでの生涯学習の成果を子どもたちに伝承する。

2 実施事業

平成24年4月1日～25年3月31日

No	事業名	場 所	指 導 者	回数	参 加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
1	囲碁教室	大栄分館	囲碁クラブ員	45	(5.1) 230	14	120	毎週土曜日
2	ふるさと花植え隊	コナン通り 前川土手 駅前通り	大栄生涯学習ま ちづくり研究会	15	(28) 42	311	73	4～10月 指定した土曜日
3	さきおりを作ろう	大栄分館	徳岡智恵	1	7		2	4月22日(日)
4	まち探検	北栄町内	船木美代子 他	1	17	21	7	8月20日(月)
5	田植えを手でやっ てみる会	西高尾周辺	西高尾自治会	1	27	17	12	5月27日(日)
6	稲刈りを手でやっ てみる会	同上	同上	1	17	13	13	10月6日(土)
7	脱穀を手でやっ てみる会	同上	同上	1	(9) 19	15	12	11月3日(土)
8	ちぎり絵教室	大栄分館	榊田栄子他	6	(9) 54	5	24	指定した土曜日
9	赤十字運動街頭キ ャンペーン	A コープ大栄 店他	大栄赤十字奉仕団	8	(26) 21		27	5月 12月
10	ホテル観察会	妻波・大谷 周辺	吉野昭則他	1	11	6	4	6月10日(日)
11	たけのこ掘り	西高尾周辺	西高尾自治会	1	14	3	8	5月6日(日)
12	流木で作品づくり	大栄分館	西村文伸	1	12	2	3	7月7日(土)
13	船上山で遊ぼう	船上山少年自 然の家	岩成指導員他	1	17		3	8月16日(木)
14	陶芸教室	中央公民館民 芸実習室	陶芸教室会員	2	(11.5) 23	7	13	5月20日(日) 6月17日(日)
15	太陽光発電実験と 工作	大栄分館	福田忠明	1	7	3	2	7月29日(日)
16	料理教室 (大栄地区)	大栄分館	大栄地区食生活 改善推進員	6	(18.5) 111		36	指定した土曜日

No	事業名	場所	指導者	回数	参加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
17	料理教室 (北条地区)	中央公民館	北条地区食生活 改善推進員	6	(15.3)92	4	35	同上
18	茶道教室 (大栄会場)	大栄分館	吉田聰美 他	15	(8.6)129	2	43	同上
19	しおりを作ろう (なかよし学級)	ふれあい会館	NPO まちづく りネット	1	42		7	8月3日(金)
20	星を見る会	大栄小学校駐 車場	前田佳秀	2	(8) 16	10	6	8月3日(金)
21	夏野菜カレーを作 ろう(子ども学級)	大栄分館	NPO まちづく りネット	1	33		6	8月7日(火)
22	切り絵教室	大栄分館	長柄敏子	1	14		4	8月6日(月)
23	さつまいも掘りに 行こう	東園 永田農園	NPO まちづく りネット	1	12	1	5	10月20日(土)
24	ニュースポーツに 挑戦	大栄体育館	船上山少年自然 の家指導員	1	12	5	2	10月14日(日)
25	子ども会とお年寄 りの交流	北条島	大栄まち研	1	8	8	3	6月24日(日)
26	前川浄化作戦	大栄分館 前川土手	大栄生涯学習ま ちづくり研究会	5	(9.4) 47	4	16	指定した土・日 曜日
27	ワリバシ回収隊	大栄分館	婦人会	3	(1.7) 5	1	33	指定した土曜日
28	茶道教室(北条)	中央公民館	谷口陽子 他	22	(2) 44	34	47	毎月第1・3土曜 日
29	ジュニアスポーツ	海洋センター	スポーツ推進員	13	(6.5) 85	9	32	指定した土曜日
30	子ども公民館まつり	大栄分館	NPO まちづく りネット	1	170	200	40	1月27日(日)
31	ネイチャーゲーム	西高尾レーク サイド	鳥取中部かわせ みネイチャーゲ ームの会	1	10	2	5	11月24日(土)
32	書初大会	大栄分館	大栄書道 愛好会	1	17		7	1月19日(土)
33	船上山で雪遊び	船上山	船上山少年自然 の家指導員	1	12		5	1月14日(月)
34	スイートポテト作り	大栄分館	大栄分館	1	10	1	2	12月9日(日)
35	サンタがうちにやっ てくる	北栄町内	夢雲	7	(76.6)116	65	36	12月15日(土) ~ 12月24日(月)
36	チョコレートケーキ を作ろう	大栄分館	田口恵子	1	14	2	4	2月9日(土)
計	(H24年4月~H25年3月31日)			177	(8.6)1517	765	697	

平成25年度『子どもほくえい塾』年間計画表

4月				5月			
日	曜	北条地区	大栄地区	日	曜	北条地区	大栄地区
1	月			1	水		
2	火			2	木		
3	水			3	金		
4	木			4	土	茶道教室 スポーツチャンバラ	囲碁教室
5	金		茶道教室	5	日		
6	土	茶道教室	ふるさと花植え隊 囲碁教室	6	月		
7	日			7	火		
8	月			8	水		
9	火			9	木		
10	水			10	金		
11	木			11	土		茶道教室、囲碁教室、ふるさと花植え隊 赤十字キャンペーン
12	金			12	日		赤十字キャンペーン
13	土		囲碁教室	13	月		
14	日			14	火		
15	月			15	水		
16	火			16	木		
17	水			17	金		
18	木			18	土	茶道教室 スポーツチャンバラ	ふるさと花植え隊 囲碁教室
19	金			19	日		
20	土	茶道教室	茶道教室、囲碁教室	20	月		
21	日			21	火		
22	月			22	水		
23	火			23	木		
24	水			24	金		
25	木			25	土		囲碁教室
26	金			26	日		
27	土		ちぎり絵教室、囲碁教室 たけのこ掘り	27	月		
28	日			28	火		
29	月			29	水		
30	火			30	木		
				31	金		

平成25年度『子どもほくえい塾』年間計画表

6月				7月			
日	曜	北条地区	大栄地区	日	曜	北条地区	大栄地区
1	土	茶道教室 スポーツチャンバラ	ふるさと花植え隊、ホタル観察会 囲碁教室、田植えを手でやってみる会	1	月		
2	日			2	火		
3	月			3	水		
4	火			4	木		
5	水			5	金		
6	木			6	土	茶道教室 スポーツチャンバラ	囲碁教室
7	金			7	日		
8	土	料理教室	ふるさと花植え隊、料理教室 囲碁教室	8	月		
9	日		ワリバシ回収	9	火		
10	月			10	水		
11	火			11	木		
12	水			12	金		
13	木			13	土	料理教室	茶道教室、囲碁教室 ふるさと花植え隊、料理教室
14	金			14	日		そうめん流し
15	土	茶道教室 スポーツチャンバラ	囲碁教室	15	月		
16	日			16	火		
17	月			17	水		
18	火			18	木		
19	水			19	金		
20	木			20	土	茶道教室 スポーツチャンバラ	ふるさと花植え隊、囲碁教室 前川浄化作戦とアイスクリーム作り
21	金			21	日	陶芸体験教室	茶道教室
22	土		茶道教室、囲碁教室 ふるさと花植え隊	22	月		
23	日	陶芸体験教室		23	火		
24	月			24	水		
25	火			25	木		子ども学級出前教室
26	水			26	金		
27	木			27	土		ちぎり絵教室と前川浄化作戦 囲碁教室、
28	金			28	日		太陽光発電実験と工作
29	土		囲碁教室	29	月		
30	日			30	火		
				31	水		

平成25年度『子どもほくえい塾』年間計画表

8月				9月			
日	曜	北条地区	大栄地区	日	曜	北条地区	大栄地区
1	木			1	日		
2	金			2	月		
3	土	茶道教室 トランポリン	納涼交流ジュニア囲碁大会	3	火		
4	日		ふるさと花植え隊 わらべ館おもちゃ教室	4	水		
5	月	なかよし学級バス旅行		5	木		
6	火			6	金		
7	水			7	土	茶道教室 トランポリン	ふるさと花植え隊 囲碁教室
8	木			8	日		ワリバシ回収、前川浄化作戦
9	金	陶芸釜だし、引渡し		9	月		
10	土		囲碁教室、星を見る会	10	火		
11	日		プラ板キーホルダーと 冷たいおやつ作り	11	水		
12	月			12	木		
13	火			13	金		
14	水			14	土	料理教室	茶道教室、囲碁教室、料理皇室
15	木			15	日		前川浄化作戦
16	金		船上山で遊ぼう	16	月		
17	土	茶道教室 トランポリン	茶道教室、囲碁教室	17	火		
18	日			18	水		
19	月			19	木		
20	火			20	金		
21	水			21	土	茶道教室 トランポリン	ふるさと花植え隊 囲碁教室
22	木			22	日		
23	金			23	月		
24	土		囲碁教室	24	火		
25	日			25	水		
26	月			26	木		
27	火			27	金		
28	水			28	土		ちぎり絵教室、囲碁教室 ふるさと花植え隊
29	木			29	日		
30	金			30	月		
31	土		囲碁教室				

平成25年度『子どもほくえい塾』年間計画表

10月				11月			
日	曜	北条地区	大栄地区	日	曜	北条地区	大栄地区
1	火			1	金		
2	水			2	土	茶道教室 バウンドテニス	囲碁教室
3	木			3	日		
4	金			4	月		
5	土	茶道教室 カヌー	ふるさと花植え隊 囲碁教室	5	火		
6	日			6	水		
7	月			7	木		
8	火			8	金		
9	水			9	土	料理教室	囲碁教室、料理教室
10	木			10	日		
11	金			11	月		
12	土	料理教室	茶道教室、囲碁教室、料理教室	12	火		
13	日		船上山少年自然の家出前講座	13	水		
14	月			14	木		
15	火			15	金		
16	水			16	土	茶道教室 バウンドテニス	茶道教室、囲碁教室
17	木			17	日		
18	金			18	月		
19	土	茶道教室 カヌー	囲碁教室	19	火		
20	日		茶道教室(市民大茶会)	20	水		
21	月			21	木		
22	火			22	金		
23	水			23	土		ちぎり絵教室、囲碁教室
24	木			24	日		
25	金			25	月		
26	土		囲碁教室	26	火		
27	日			27	水		
28	月			28	木		
29	火			29	金		
30	水			30	土		囲碁教室
31	木						

平成25年度『子どもほくえい塾』年間計画表

12月				1月			
日	曜	北条地区	大栄地区	日	曜	北条地区	大栄地区
1	日			1	水		
2	月			2	木		
3	火			3	金		
4	水			4	土	茶道教室	囲碁教室
5	木			5	日		
6	金			6	月		
7	土	茶道教室 バウンドテニス	囲碁教室、募金活動でちょボラ	7	火		
8	日		ワリバシ回収、募金活動でちょボラ	8	水		
9	月			9	木		
10	火			10	金		
11	水			11	土	アーチェリー	書き初め大会、囲碁教室 ちぎり絵教室
12	木			12	日		船上山で雪遊び
13	金			13	月		
14	土	料理教室	茶道教室、囲碁教室、料理教室 募金活動でちょボラ	14	火		
15	日		募金活動でちょボラ	15	水		
16	月			16	木		
17	火			17	金		
18	水			18	土	茶道教室 アーチェリー	囲碁教室
19	木			19	日		
20	金			20	月		
21	土	茶道教室 バウンドテニス	囲碁教室	21	火		
22	日			22	水		
23	月			23	木		
24	火			24	金		
25	水			25	土		囲碁教室
26	木			26	日		子ども公民館まつり
27	金			27	月		
28	土		囲碁教室	28	火		
29	日			29	水		
30	月			30	木		
31	火			31	金		

平成25年度『子どもほくえい塾』年間計画表

2月				3月			
日	曜	北条地区	大栄地区	日	曜	北条地区	大栄地区
1	土	茶道教室 アーチェリー	囲碁教室	1	土	茶道教室	囲碁教室
2	日			2	日		
3	月			3	月		
4	火			4	火		
5	水			5	水		
6	木			6	木		
7	金			7	金		
8	土		囲碁教室	8	土		囲碁教室
9	日			9	日		ワリバシ回収、前川浄化作戦
10	月			10	月		
11	火			11	火		
12	水			12	水		
13	木			13	木		
14	金			14	金		
15	土	茶道教室 スキー	囲碁教室	15	土	茶道教室	囲碁教室
16	日			16	日		
17	月			17	月		
18	火			18	火		
19	水			19	水		
20	木			20	木		
21	金			21	金		
22	土		囲碁教室	22	土		囲碁教室
23	日			23	日		
24	月			24	月		
25	火			25	火		
26	水			26	水		
27	木			27	木		
28	金			28	金		
				29	土		囲碁教室
				30	日		
				31	月		

平成25年度ジュニアクラブ活動状況（平成26年1月23日現在）

団 体 名	定例活動日以外の 土・日曜日活動日数 (概 算) *主に練習試合、大会	活 動 日 ・ 時 間	登録人数	指導者人数
北 条 剣 道	10	月・水・土曜日 19:00~20:30	13	8
北 条 野 球	25	火・木曜日 17:00~19:00 土曜日 13:00~17:00	21	10
北 条 卓 球	15	月・水曜日 17:30~19:30 土曜日 9:00~12:00	8	4
北条バレーボール	30	月・木曜日 17:30~20:00 土曜日 13:00~17:00	10	4
北条ミニバスケットボール	20	火・水・金曜日 17:30~20:00 土曜日 9:00~12:00	27	5
北条バドミントン	15	月・木曜日 19:00~20:30	25	4
北 条 サ ッ カ ー	30	月・木曜日 18:00~21:00 土曜日 8:30~13:00	36	5
大 栄 剣 道	10	月・水・土曜日 18:30~20:30	4	10
大 栄 サ ッ カ ー (おだいばFC)	30	月・木曜日 17:30~19:00 水曜日(第2・第4) 18:00~19:00 土曜日 9:00~11:30	19	10
大 栄 バ ド ミ ン ト ン	15	月・木曜日 18:30~20:00	35	8
大 栄 バ レ ー ボ ー ル	30	火・木・土曜日 17:30~20:00	9	6
大 栄 ミ ニ バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	20	月・水曜日 18:00~20:00 金曜日 19:00~21:00	16	4
大 栄 野 球	30	水・金曜日(4月~10月・3月) 16:00~19:00 土曜日 13:30~18:00 日曜日(4月~10月・3月) 8:30~12:00	22	7
大 栄 卓 球	15	火・金曜日 17:30~20:00	16	2
水 泳	1	月・木曜日(6月~9月) 18:30~20:00 木曜日(10月~5月) 18:30~20:00	26	7
柔 道	20	月・木曜日 18:30~20:30	15	7
陸 上	15	水曜日 16:00~18:00 金曜日 17:00~18:30	28	3
ドッジボール (くろぼくガッツ)	20	火・木曜日 18:00~20:00 土曜日 8:50~12:00	21	6
合 計			351	110

■ 26 教育力向上事業について

9 教育費—1 教育総務費—2 事務局費

《 6 教育力向上事業 》

■ 学校における学び力向上対策

- ①校内授業研究会への講師招聘事業（授業力向上）＝617千円（拡充事業）資料番号 1
当初400千円
- ②各種学力調査の実施（NRT・CRT・全国学テ・小学校学テ）＝2,991千円（継続事業）
- ③豊かな育ちと学び力アップ会議＝予算措置なし（新規事業）資料番号 2
（年間サイクルで学び力向上の検証PDCAを行う）

■ 地域連携による学び力向上対策

- ④「やるぞ！学力向上アクション週間」176千円（新規事業）資料番号 3
- ⑤PTA先進地視察研修事業 556千円（新規事業）
- ⑥PTA・自治会等を対象とした子どもたちの学びの必要性の講演会の開催。資料番号 3
200千円（新規事業）資料番号 3
- ⑦自治会等地域ボランティア学習支援事業＝60千円（拡充事業）
- ⑧サマースクール事業（夏休み期の学習支援）＝120千円（拡充事業）
- ⑨平成26年度は平成27年度からの「地域協働協議会」設立準備年（新規取り組み）

■ 児童生徒学び力向上対策

- ⑩「生き方を学ぶ講演会事業」＝226千円（新規事業）資料番号 4

《 その他の継続学力向上対策事業 》

■ 少人数学級の推進（県基準に加え小3・4年生の33人学級）

■ 人的配置による学習支援（ALT・ICT教育活動支援員・学校主事補佐員・特別教育支援補佐員・図書館司書補佐員）

■ ハイパーQ U 検査（いじめ対策・学級作り）

■ 小学校外国語教育活動事業

■ 発達通級指導教室

■ 教育環境整備事業（IC機器整備事業など）

■ 同日公開参観日

■ 教育委員会計画訪問

■ 町教委指導主事による指導助言

■ 町教研・町幼研による連携

※学校においてはTT授業・習熟度別授業など

平成26年度 講師招聘事業

○北条小学校 140,000円

- ・学級経営 上越教育大学大学院 赤坂真二准教授 1回

(県事業を26年度補正予算で財源確保し、実施予定(県交付金10/10 500千円)。

その場合はこの事業での予算執行はしない。)

○大栄小学校 125,000円

- ・算数教育 鳥取大学 矢部敏昭副学長

3回 $25,000 \text{ 円} \times 3 = 75,000 \text{ 円}$

- ・特別支援教育 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 井上雅彦教授

2回 $25,000 \text{ 円} \times 2 = 50,000 \text{ 円}$

○北条中学校 212,000円

- ・学習指導 宇都宮大学教育学部 松本 敏教授

2回 $106,000 \text{ 円} \times 2 = 212,000 \text{ 円}$

○大栄中学校 140,000円

- ・言語活動の充実 講師未定(中部、関西、中・四国エリアより) 2回(6月、2月)

(各学校の金額は、報償費、旅費、宿泊費の合計)

□合計金額 617,000円

(北条小学校を除いた合計金額 477,000円)

豊かな育ちと学力アップ会議

1 目的

子どもの学ぶ力を高め、学力向上につなげていくために、講師招聘授業研究会、学力調査活用を町内4小中学校が連携をしてより効果的に進める。そして、上記の2つの取組及びこの会議をPDCAサイクルに位置づけて実践していく。

2 スケジュール

1月28日	【第1回 会議】 ・ 目的の確認、活動内容の確認及び計画立案 ・ 学力検査分析からわかる北栄町児童生徒の課題とその対策
1月下旬	小学校 NRT 実施 中学校 CRT 実施
3月中旬	【第2回 会議】 ・ 小のNRT、中のCRTの結果分析 ・ 平成26年度の活動計画
4月	小・中学校 全国学力・学習状況調査 中学校 NRT 実施
6月	【平成26年度 第1回 会議】 ・ 本年度の活動計画（各校の研究推進計画の情報交換と本会議の年間計画） ・ 中学校NRT分析結果共有（町内生徒の課題を把握し、実践につなげる）
6月～11月	各学校 講師招聘授業研究会 小・中学校 全国学力・学習状況調査の分析及び活用
11月	【平成26年度 第2回 会議】 ・ 各校実践の振り返りと成果の共有（講師招聘授業研究会を中心とした実践の成果の報告） ・ 全国学力・学習状況調査の活用状況（分析から実施したことの振り返り）
1月下旬	小学校 NRT 実施 中学校 CRT 実施
3月	【平成26年度 第3回 会議】 ・ 小のNRT・中のCRTの結果分析（町内児童生徒について前年度までの調査結果と比較しながら、成果・課題を明らかにする） ・ 今後（次年度）の活動検討（すでに立案されている各校の研究推進計画に今回の分析の結果を活かしていく）

地域連携による学び力向上対策

1 事業の方針

北栄町の小・中学校の子どもたちに基礎基本の学力をしっかりと定着させることは「北栄町教育ビジョン」に定めているとおり、町民等がそれぞれの役割を担いながら目指していくものであるとともに、家庭や地域、町民みんなが共通に思う願いであります。

そこで、この町全体での課題を少しでも解消していくために、家庭・地域・学校・教育委員会が一体となって、子どもたちの「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた教育を充実させるため、さまざまなアクションを協働・連携しながら実践して行きます。

2 事業の目的

基礎学力の定着や仲間づくり等への課題を家庭・地域・学校・教育委員会が一体となって洗い出し、家庭が、地域が、学校が、町全体が取り組めるあらゆる方策を検討・実践し、北栄町内の子どもの「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた教育を行っていくことを目的とします。

3 具体的な取り組み

(1) 基礎学力の定着のための「やるぞ！学力向上アクション週間」取り組み

※ 平成 26 年度から学校の長期休業前の 7 月・12 月・2 月の 1 日からの 1 週間で「やるぞ！学力向上アクション週間」と位置づけ、町全体が子どもたちの基礎学力の定着を目指す気運を高める行動を起こしていく。

①家庭：★ノーメディアで取り組む

★それぞれの子どもが抱える課題に対応したプリント実践

②地域：★自治会や PTA などが地域の子どもの学習への啓発を自治会内放送などで呼びかけ実践

★自治会や PTA などが期間中の土・日曜日に公民館等で基礎学力の定着に生きる活動に取り組む

③学校：★基礎学力の定着の取り組みを学校ホームページ等で広く周知する期間に位置付け、学校教育の可視化に取り組む

★子どもたちの習熟ごとに類型化した数種類のプリントを準備し、児童生徒に適したものを配布して点検する

★各学期における基礎学力の定着状況と子どもたちの対策計画策定に取り組み、学期末の保護者説明で説明責任を果たしていく

★学力調査の分析結果を「PDCA」により町全体に公表

④教育委員会：★「やるぞ！学力向上アクション週間」の町全体の取り組みを一斉放送、町ホームページ、ケーブルテレビなどの媒体により広くアピールする

★家庭・地域との課題を洗い出し作業実施

家庭・地域が課題に対して実践する基礎学力の定着への取り組みの支援

★学校における活動実践の点検確認・指導

(2)「地域協働協議会」(仮称) 設立の準備

※ 平成 27 年度に家庭・地域・学校・教育委員会が「基礎学力の定着」、「体力の向上」、「心根を磨く」取り組みを一体となって推し進めていくため、中学校区毎に「仮称：地域協働協議会」を設置し、各学校が「地域学校」である位置づけを明確にし協働・連携しながら具体的な取り組みを進めていく。

① P T A・自治会・学校等と課題の洗い出し、目標の設定、取り組む内容等を検討します。

★平成 25 年度から先行して行う「学び力アップ会議」により洗い出された課題と、上記協議会で洗い出される家庭・地域での課題を踏まえ、今後、町内の子どもたちの豊かな育ちについて、町全体でどのような目標に向かって取り組むかを協議し、最終的には中学校単位で「地域協働協議会」を設立すべく準備を行うものです。

② P T A・自治会等が他県の先進的な事例を学ぶため、視察研修を行います。

★平成 27 年度に取り組むを行うため、事前に先進事例を自ら学び、研修内容を今後の取り組みに還元するものです。

③ P T A・自治会等が子どもたちの学び力について、あらかじめ「家庭教育」・「地域教育」の必要性や「学校教育」との連携の視点から専門家を招へいして講演会を開催し研さんします。

★「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた教育を推進する上で「学校教育」・「家庭教育」・「地域教育」の連携が重要であるため、あらかじめ専門家の講演会を聴講し地域教育の研さんをするものです。

4 予算措置

実施主体	内容	費用積算	備考
教育委員会	平成 27 年度各中学校単位で P T A・自治会・学校・教育委員会が一体となって取り組む「地域協働協議会」(仮称) 設立準備意見交換会の開催 ◎ 3 - (1) - ①	・ 必要なし	会場役場・学校 模造紙・付箋 紙等町利用

	他県先進事例研修 ◎3-(1)-②	現地訪問研修 (1泊2日:20名程度) ・バス借り上げ 250,000円 (中型:運転手・高速代込み) ・消耗品 10,000円 ・旅費(職員2名) 30,600円 (宿泊・日当@15,300円) ・参加謝金(18名) 275,400円 (宿泊・日当@15,300円)	中・四国、近畿圏で訪問
	家庭教育・地域教育の重要性を認識する講演会 ◎3-(1)-③	講師謝金(中学校区実施) 100,000円×2名=200,000円	中学校区で実施 会場は学校または改善センター
①家庭	・ノーメディア啓発チラシ ・プリント実践 ◎3-(2)-①	・必要なし ・インクマスター等 @20,000円×2セット×4校 =160,000円	町用紙利用・印刷
②地域	・学習の啓発呼びかけ ・自治会等学習活動支援事業 ◎3-(2)-②	・必要なし ・1団体上限1万円現物支給 ×6団体 = 60,000円 (長期休業中対象:継続拡充)	消耗品現物支給
③学校	・学校教育の取り組みの可視化 ・学期末定着状況・対策策定・説明 ◎3-(2)-③	・必要なし ・必要なし	通常業務 学校予算対応
④教育委員会	・「週間」の啓発チラシ ・学校活動点検確認・指導 ◎3-(2)-④	・必要なし ・必要なし	町用紙利用・印刷 通常業務
上記から必要な予算要求額 ※事務局費-教育力向上事業		報償費 200,000円 消耗品費 176,000円 費用弁償・旅費 306,000円 借上料 250,000円 合計 932,000円	意見交換会の結果で実践する事業の支援は補正予算対応

5 効果

- ・家庭での子どもたちの学びの取り組みと基礎基本の学力の定着・向上が期待できる。
- ・保護者が子どもにかかわり、メディアのない中会話を行うことで、規則正しい生

活習慣や学習の取り組みへのきっかけづくりなど保護者の子育てへの意識の高揚とかかわりが期待できる。

- ・地域が子どもへのかかわりを行うことで、地域の子どもは地域で育てる意識、子どもが地域を愛する意識が高揚することが期待できる。
- ・家庭・地域が学力向上に取り組むことによって、学校の負担軽減が図れ、教科指導への専念が期待できる。
- ・あえて可視化・責任の明確化をすることによって、さらなる緊張感を持った指導が期待ができる。
- ・個別対応の強化と保護者説明を行うことで、困り感のある児童生徒、特に学習面で埋没してしまっている子どもの学習力の向上が期待できる。
- ・保護者説明や可視化によって開かれた学校づくり、地域に根差した学校づくりの期待ができる。
- ・家庭・地域・学校・教育委員会が一体となって取り組むことにより、町をあげて子どもの教育を行うこととなり、「教育するなら北栄町」「子育てするなら北栄町」の町長公約に沿った実践が可能となり、人口流入、定着が期待できる。

6 課題

- ・教育委員会だけが実践するような活動としてはいけない。⇨振り返ったらだれもない。
- ・家庭・地域の理解・協力が不可欠である。
- ・学校が負担感を理由に取り組まないことが懸念される。⇨学校はやっている。
- ・人材の発掘に努力が必要である。
- ・地域人材が学校教育を停滞させるようなことがあってはならない。⇨教員OB等が干渉すぎて教員が委縮してしまう。
- ・学校の負担が著しく増加してはいけない。
- ・子どもたちが負担を感じてはいけない。

事業名「生き方を学ぶ講演会事業」

1 目的

豊かな心と自ら考え行動する力を持ち、自己実現ができる人を育成していくために、社会において強い信念を持ち、活躍している人の話を聞き、自分の生き方を考え、将来に希望を持ち、それを実現することにつながる学習や活動に意欲的に取り組むきっかけとする。

2 対象

小学校 5・6年生

中学校 全学年

3 内容

各小・中学校において、講演会（60分）を実施する。

4 費用

講師報償費 225,540円

（内訳）

○小学校 県内講師 25,000円×2名 = 50,000円

（交通費を含む）

○中学校 県外講師 175,540円×1名 = 175,540円

謝金 100,000

交通費 53,740（東京 片道26,870）

宿泊費 21,800（1泊10,900×2）

その他 1日で2校実施

5 その他

講師は、各学校と協議して決定する。

講師例

小学校：小原利一郎 大江ノ郷自然牧場代表 鳥取県八頭郡八頭町橋本 877

通販・直売所ココガーデンでの、「天美卵」及び、こだわりの
素材を使った無添加スイーツの販売

中学校：山下佐知子 第一生命女子陸上競技部監督

鳥取県出身

第3回世界選手権東京大会女子マラソン2位

バルセロナ五輪女子マラソン4位

■大栄中学校プール改築事業について

【経過】

大栄中学校の50mプールは昭和41年建設でありプール槽、排水管などからの漏水、ろ過機の性能低下など、維持管理費がかさむようになっている。

大栄中学校では、現在水泳部は無く、授業では年間90時間の利用のみである。

現プールは50m公認プールであり、中部小学校水泳大会会場として使用しているがH24は維持管理費の関係で開催をいったん断ったが、練習での使用の制限、水の入替えを最低限とする事を条件に開催。H25も同様の条件で開催した。

今後、早晩ろ過機、プール槽等の大規模な根本的な改築が想定される。

ただ、プール槽、関連機械一式改築となると億単位の事業費が必要となり、大栄小学校のプールにおいても同様の状況にある。

今後、学校施設におけるプールの改築にあたり教育委員会として、利活用の多少に関わらず学校単位で設置するべきとするか、小中学校で集約して設置も考慮するのか方向性を示す必要がある。

参考：50mコースを25m7コースFRPプールに改築し、併せて電気ろ過設備の更新を行う。

《必要経費》

- ・設計管理委託費＝1038万5千円
- ・工事費＝1億6817万8500円（プール槽・電気ろ過設備）
- 計 ＝ 1億7856万4千円（合併特例債1／3予定）対象

平成 25 年度

後期 計画訪問 記録

(保育所・こども園)

北栄町教育委員会

目 次

10月29日（火）由良こども園	・・・	P1～2
10月31日（木）大谷保育所	・・・	P3～5
11月7日（木）大誠こども園	・・・	P6～7
11月12日（火）北条こども園	・・・	P8～10

【お願い】

資料は、省略しています。

訪問時に配布された資料をご覧ください。

平成25年度後期 由良こども園計画訪問

日時：平成25年10月29日（火）9：30～12：40

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、齋尾委員、磯江委員、岩垣教育長、
徳永子育て支援室主幹、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 加嶋指導主事
県子育て応援課 石上保育専門員

1 福光委員長あいさつ

年度当初立てた計画に沿って実践してきた成果を、子どもの姿として見られたらと考えている。

2 自己紹介

3 園経営等の状況説明

大黒園長）P. 1をもとに説明

4 保育参観

5 研究・連携の取り組み・協議

小野塚部長）研究の取り組みについて説明（P. 2～8）

昨年度は「感動体験」と題して様々な体験「心が動くと言葉が出る」を実践したが、今年度は「話したくなる、聞きたくなる」をテーマに子どもの話を丁寧に聞くことを特に心掛けている。

桑本先生に紹介していただいた絵本（「ことば絵辞典」？）がとても良かった。休憩室に置いて、職員が皆読むようにしている。言葉がけを意識するようになった。

飛川部長）連携の取り組みについて説明（P. 9～10）

河本長職代理）P. 2の資料は、とても読みやすい。

子ども同士であいさつはしているか？

大黒園長）あいさつ当番が朝立ち番で挨拶をしているが、子ども同士は十分にできていない。保育士からのあいさつには応える。

河本長職代理）5歳児が小学校に進級するにあたって、その指導の時期は？また小学校から要望はあるか？

大黒園長）4歳の時に5歳児健があり、その時に気になる子や保護者から相談があった場合は専門医を紹介するなどしている。5歳からではなく4歳から始めている。

年長児の小学校訪問や小学校の先生の保育士体験で共通理解を図っている。

姿勢保持に気を付けたり、様々な体験をさせる事を心掛けている。フラフープや縄跳びを友達と一緒にやり遂げる等。

小野塚部長）生活習慣では、お昼寝を年度の後半からやめたり、トイレの練習をさせたりする。給食は時間内に食べさせるようにする。

磯江委員) 部屋の掲示物について、5月よりも掲示物が増え、温かい感じになっているのがよい。保護者に対してクラスの目標などが書かれているのもよい。

岩垣教育長) 「自分なりの言葉」となっているが、「自分の言葉」ではないか。

福光委員長) 言葉は、大栄小は弱い。北条小は明るく表現できる。

5歳児の絵がよく描けている。3歳、4歳、5歳の絵は全然違う。成長具合がすごい。

友達同士のあいさつが出来ないのは、小・中学校も出来ていない。人との関わりが少ないのが原因。都会は人が多いが関わりは少ない。温泉街の子どもは良く出来る。

桑本指導主事) 5歳児の絵は、色使いも明るく、笑っているように見える。自分が認められていることや、心の穏やかさを感じる。保育者が子どもの言葉をよく聞き、まなざしが向いている成果が出ている。

保護者に家庭で読み聞かせを毎日させてはどうか。

磯江委員) ことば絵辞典の例をあげて、保護者に紹介してはどうか。

福光委員長) 12月ごろには、来年度の構想を立て1年間の見通しを持つ。4月1日からスタートできるように。新年度入園児を募集するときに、各こども園の特色を出してみてもどうか。

6 指導助言

(1) 加嶋指導主事

○園で過ごす子どもたちが楽しく過ごせるのが一番大事である。この園の子どもは生き生きしていた。

○汽車ごっこ(2歳児)では、うまくいかないところでも友達同士で折り合いをつけたり、助言をしたり出来ていた。

○けん玉遊び(4歳児)を、ひもが長すぎたりしても、なんとか上手くできないかと工夫してやってみていた。自由にさせる事、子どもに任せる事が大切である。

○先生と子どもの距離が近いと感じた。園庭が広いのが良い。

(2) 石上保育専門員

○年齢別に理論と実践が考えられているのがよい。

○良質の保育は、子どもの最善の利益が守られていること。困ったことが伝えられるということは、一人一人が認められている、つまり子どもの最善の利益が守られているということである。

○保育者は、子どもの内面を読み取って言語化することが大事。形式的にならないように。

○言い合い、葛藤のちに折り合いをつけることを大切にしたい。

(3) 岩垣教育長

○運動会では5歳児が2歳児を連れていたり、準備や片づけを任されたりして、嬉々としてやっていた。やりがいを感じて仕組んであった。小学校につながる。

○研究課題は、一度にたくさんの結果を出すのではなく、一つ一つの積み重ねで、これは出来た、これは出来ていないを確認していくこと。

○子どものつぶやきを拾っていくととても面白い。

○汽車ごっこで線の上を歩いていたが、2歳児にとって難しいのではないかと感じた。発達に合った遊びになっているか、教育課程と照らし合わせてもう一度考えてみてほしい。

平成25年度後期 大谷保育所計画訪問

日時：平成25年10月31日（木）9：30～12：30

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、齋尾委員、磯江委員、岩垣教育長、
徳永子育て支援室主幹、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 西村指導主事

1 あいさつ 福光教育委員長

ホワイトボードを見ていると、行事が多い中様々な取り組みをされていて感心する。

今回の計画訪問は、年度当初に立てた計画に沿って取り組んだことが、子どもの姿としてどのようにあらわれているかを参観していきたいと思う。

2 自己紹介

3 園経営等の状況説明（遠藤所長）

遠藤所長）資料P.1～4 をもとに説明

福光教育委員長）「のめりこむ遊び」は、子どもにとって充実感や満足感が味わえる環境や保育士の声かけが大事である。

遠藤所長）職員間で保育を見合いながら、どういう声かけが興味をもち楽しむ姿になるか話し合いをしている。

研究テーマについての保育の振り返りをしているが、日々の保育も振り返れるようになり、職員自身の意識がかわってきた。

河本長職代理）園児同士のあいさつはできているか。

遠藤所長）できている。5歳児が玄関に立ってあいさつをすると、保護者も笑顔になる。

地域の老人クラブの中でも広がり、あいさつ運動時には、老人クラブの方から「（5歳児と）一緒に玄関に立ちたい」と言われる方もあった。

3 保育参観

4 連携、研究の取り組み等の説明、懇談

松岡副所長）研究の取り組み、交流の取り組みについて説明

河本長職代理）各年齢で、保育目標がでていますが、研究主題と各年齢の目標とどのように整合しているか

松岡副所長）研究仮説にもとづいた目標を立てている。

河本長職代理）当初の計画にもとづいて目標を決めて、一つの流れがわかるようにしてほしい。
チャレンジマラソンについて、持久力をつけるということだが、小学校につながる力をつけるために、今後どんな取り組みをしていくか。

遠藤所長) 挑戦意欲、集中力(話をきくこと・遊びの集中力)がついていくと、小学校へつながると考えている。

遊びの場面でも、集中して遊ぶための、子どもがやってみたくするための環境の構成を工夫していきたい。

教育長) 今回3・4・5歳児合同であったが、この遊びを通してどんな力を育てるか年齢ごとのねらいをもっとはっきりさせておく必要がある。また、かかわりをもたせるためには、どんな手立てが必要かを意識し活動を考えていく。

遠藤所長) 普段は、各年齢ねらいをふまえている。3歳児は、4人しかいないので活動によっては、今日のように異年齢で活動している。

福光委員長) 子ども同士のかかわる中で、教え合う力が弱いなら、どうしたらうまくできるかを子ども同士教え合えるための保育士の声かけが必要。

遠藤所長) 友達とのかかわりとその時に保育士がどのような声かけをしたか記録にとり、意見を出し合う会をもっている。

岩田指導主事) 事例研修資料について。テーマは、活動名ではない。

子どものつぶやきや行動、保育者が何を意図してどうかかわったかが書かれている。また、そのことによって子どもがどう変わったか、保育者の解釈も書く。記録をすることで、子どもがよく見えるようになり、意図的に関わるようになっていく。また、この記録をもとに話し合いを持つことにより、幼児理解が深まると思う。

河本委員) 重点目標の評価を9月にすると聞いたが、結果を全職員で確認しあったか。指導案等を他園のものを参考にしているか。

岩田指導主事) 指導案を保存する共有フォルダを作成しているが、再度確認をしたい。

西村課長) 公開保育の振り返りをフォルダに入れて共有するように。

岩田指導主事) 1歳児クラスは描く活動であったが、紙の大きさが小さかった。おもいっきり描けるようにどんな材料がいいのか考える。表現について、各年齢で大切にしたい活動に合わせて材料を検討することが大事である。

西村課長) 自然物あそびで、5歳児はまっぼっくりに文字をつけるなど、遊びと学びの連携をとっていったらいいのでは。まっぼっくりを投げ入れていたが、ただ投げるのではなく上なげや下なげなどあってもいいのでは。

磯江委員) 先生方がとても静かであった。どこで先生の仕掛けがあるか待っていた。

うちの孫が「さむ〜 はや〜」という言葉を使う。気が付いたときに正しい言葉を教えてほしい。

子どもに名札があればよかった。

齋尾委員) 「未満児」「以上児」という言葉は、わかりにくい。

誰にもわかる言葉を使ってほしい。

福光委員長) 園評価をもとに来年度の構想はできているのか? 今の時期からはじめて、4月1日からスタートできるようにしたい。

行事ごとに反省を書き込み、次年度活用するとよい。

5 指導助言 西村指導主事

○計画訪問の体制が、保育の質を高めている。前期の結果が、後期に生かされている。

○子どもたちの生き生きした姿が見られた

自分で選んで集中して遊んでいた。十分に遊ぶ時間も保障されていた。

○子ども同士のかかわりが薄かった。今後かかわりを増やすために、仕掛けが必要。

クラスで感想を言い合うなど表現活動に取り組むとよい。

体験をしっかりと表現活動を取り入れることで、つぎの体験がより良いものになる。

平成25年度後期 大誠こども園計画訪問

日時：平成25年11月7日（木）9：30～12：40

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、磯江委員、岩垣教育長、
新名子育て支援室主任、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 小田指導主事

1 福光委員長あいさつ

年度当初立てた計画に沿って実践してきた成果が、子どもの姿としてどう表れているか見ていきたい。

2 園経営の状況説明

助谷園長）現状と改善策について説明

福光委員長）学びの基礎の育ちに差があるとあるが、育っていない現実があるか。

助谷園長）各クラスで、片づけ・好き嫌いのある子などと項目を設け、実態把握している。

プール活動…運動量はどうか。体力作りになっているか。

異年齢交流…刺激を受けるだけで、十分なかかわりができていない。

表現力…最後まで言えない。

福光委員長）こういうことは、みんなでやっていこうということは、あるか。

助谷園長）子どもに寄り添うこと、保育者の言葉かけを大事にすること、絵本の読み聞かせ、これはみんなで大事にやっていこうと話している。

河本長職代理）職員同士が共有していることは、資料からよくわかる。具体的にみんなでどんなことをするか決まっていれば、評価もしやすい。

3 保育参観

4 連携・研究の取り組み説明

竹本・松田部長）「連携の取り組み」「研究の成果と課題について」説明

①研究保育・事例研を通して学び合う。

②子どもの育ちを見通し、遊びを整理してまとめる

5歳児を見通し、それぞれの年齢でどんな力を身に付けさせたいかをまとめた。

③保護者啓発

磯江委員）KJ法とは？

竹本部長）KJ法で話し合ったものを出して説明

岩垣教育長）4歳児2クラスの「ねらい」が違っているのはなぜか

松田部長）最終的にめざす姿は同じだが途中は今日のように違うことがある。本時のねらいは、子どもの育ちを見ながら設定する。本日は、一クラスは、個々の充実を、もう一クラスは、友達とのつながりをねらいとしていた。

岩垣教育長) その保育の記録を取ると育ちのプロセスわかり、おもしろい研究になる。

岩田指導主事) 学びの履歴を残していくとよい。子どもがどんな経験(学び)をしてきたのかがわかると、次の保育を組み立てる時、役に立つ。

磯江委員) 「フリー」は「保育充実職員」としたのではないか。

「どうぞ」「ありがとう」のやりとりを大事にしたい。言語環境としての保育士の役割は大きい。

0歳児クラスの保育に、音楽を取り入れるとよいと思った。

5歳児は、遊戯室に出た時、整列やあいさつがあるとよい。決め引きがほしい。

岩垣教育長) 資料P. 5の写真(ボールを投げている男児)を示せば、「あんなふうに投げたい」と憧れやモデルになるのではないか。視覚に訴える仕掛けも大事だ。

河本長職代理) 子ども同士は、あいさつを交わしているか。

助谷園長) 先生とはかわすが、子ども同士は、できていない。今後の課題としたい。

福光委員長) 5歳児の保育に、メリハリやテンポがほしい。表情豊かに。

大誠子ども園は、どういうところをポイントとして保育を行っているか、園児募集の時に伝える。保護者啓発の時だと思う。

5 指導助言 小田指導主事

○意図や視点をもって研究をしているところがよい。

○大誠子ども園は、2クラスある良さがある。担任同士が相談しやすく、学び合いができる。

○自然物は、自分たちで拾ったものなので、思い入れがある。ねらいに合わせて数・種類などを考えることが大事。保育者の立ち位置も考える必要がある。

平成25年度後期 北条こども園計画訪問

日時：平成25年11月12日（火）9：30～12：50

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、磯江委員、岩垣教育長、
田中子育て支援室長、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 牧田指導主事

1 福光委員長あいさつ

年度当初に立てた計画に沿って実践されたことが子どもの姿としてどう表れているのか、見ていきたい。

2 自己紹介

3 園経営の状況説明

森田園長)説明

河本長職代理)園経営の進捗状況を教えて欲しい。

森田園長)職員の保育・教育に対する意識が上がってきている。点数だと75点つけたい。

視点を持って保育を参観することにより、1つの目的に向かって取り組めるようになってきている。子どもの動きも変わってきている。

河本長職代理)概ね計画どおりと受け取って良いか？

森田園長)はい。

福光委員長)地域のニーズとは？具体的に教えてほしい。

森田園長)実態を説明・・・P3の長時間・延長・土曜保育の利用者が増加傾向にある。

支援を必要とする子が、遅い時間までおり、土曜保育の利用も多い。

福光委員長)それは何を物語っているか。子育てを任せっきりにしていないか？

森田園長)いろいろな家庭の背景が影響しているように思う。

3 保育参観

4 研究・連携の取り組み説明

澤村部長)説明

福光委員長)P4に研修の取り組みについての記載があり、職員の意識が変わってきていることがわかった。何か秘訣があるのでは？

森田園長)保育・幼稚部長が真摯に職員指導にあたっている。

例えば、指導案一つに対しても、一人ひとりに丁寧に対応している。

一方で、なかなか・・・で泣いている職員もあるけれど、部長も譲らない対応で、職員を指導している。

福光委員長)職員に主題・目標等目指す方向がしっかり伝わっている。

澤村幼稚部長) 以前は園内公開保育がなかったので、お互いの保育をみるということがなかった。

昨年度は、職員に伝わっていなかった。研究仮説の基づいた視点をもって保育を参観することですが、変わってきている。

福光委員長) 研究主題は今年で2年目となる。(24～25年度は同じ研究主題)

来年度は？来年度の構想も持っておいた方が良い。

岩垣教育長) P4の中に保育・教育の大事なキーワードがたくさん入っている。

評価の仕方、保育指針を読んでいる人●%という捉え方があっていいのでは？

岩田指導主事) 研修等で、保育指針を持ってきて「ここにこう書いてあるから」という根拠を持って

意見を伝える職員もある。

澤村幼稚部長) 休憩室に専門書を置いているが、臨時職員も専門書をよく読んでいる。

河本職務代理) P4の「公開保育に参加できない職員も多いので・・・周知できるようにしている。」

とあるが、どれか見せていただきたい。⇒園長) 了解

福光教育委員長) KJ法で話し合うのはよいが、そればかりだとどうか？

岩田指導主事) KJ法で話し合うことにより、だれもが発言しやすくなった。また、印象ではなく、子どもの様子をよく観察し記録をもとに(事実をもとに)話し合うようになってきた。

森田園長) 今まで伝えることができない声が聞こえてきた。

西村課長) 子どもの身体の発達等がよく捉えてあったが、自己表現についてはどうか？

森田園長) すべての活動は6領域にまたがっているので、心と身体の両方を育む。

西村課長) 子どもの言葉で伝える力はどうか？

森田園長) コミュニケーション能力は・・・なかなかできていない。

磯江教育委員) 手作りの教材もあって素晴らしい。

4・5歳児の聞く力が育っているか？

担任が、話を聞かせる時に、前の子だけでなく、サイドの子も聞いているのか

意識していくことが必要だと感じた。

岩田指導主事) 横に長く並ぶのではなく、どこかに小さく集まらせても良かった。

森田園長) 実のところ保育の良いモデルがあまりないので、県の相互理解の事業等に参加し、よその園の良いモデルに学ぶ機会も設けている。

福光教育委員長) 今日の活動の中で、指導案より早く活動に入れるクラスもあった。前の活動とのつながりはどうか？

森田園長) 今日の天候により、保育(教育)内容に変更があったりもして、子ども達の姿も変わってきている。

福光教育委員長) 子どもが、園生活で発している言葉を掴んでいくことも必要だと思う。

岩田指導主事) 子どもが思わず動きたくなるような環境が設定してあった。

活動の中に、多様な動きも組み込まれていた。

河本長職代理) 子育て支援センターでは、相談業務はあるか？

田中室長) 由良子育て支援センターでは、相談業務を主に担っているが、わざわざ相談だけされる方がないと聞いている。他の子育て支援センターの遊びの広場では、保護者同士が交流する中で相談しあったり、指導員に相談したりする姿がある。

河本長職代理) 相談を受けた記録はあるか？

相談内容について、一つにまとめて職員に周知しておいた方が良い。

福光教育委員長) 園の指導計画(月案等)について、4園が統一性を持っておいてほしい。

5 指導助言 牧田指導主事

はじめて保育所・幼稚園を訪問した。

目標と子どもの姿が一致していると感じた。

①保育者が魅力ある環境を設定していたと思う。そのため、子どもが一つのところから離れない状況にあった。

②運動量の確保について

子どもの実態に応じた場の設定をすること、子どもの姿を見ながら臨機応変に変えることが大切である。

(事例より)

・先日ある小学校に行き、跳び箱の授業の中で、良かれと思った6丁場より、3丁場の方に人氣が集中し、子どもが並んで待つ姿があった。子どもに待つ時間を与えるよりも、臨機応変に、もう一つ3丁場を設けた方が運動量の確保ができるという事例があった。⇒ 環境設定で考えていきたいことである。

○今日の5歳児のサッカーでボール(ゴール)が2個あって良かったと思う。

○多様な動きをどんな場所でしているか？平面だけではなく、高さのある空間で運動させていくことは大切である。=今の子どもは、空間で自分の身体を操作する力が乏しい。ぞうぐみの空間を使った運動は良かった。

○子どもの素足での活動もよかった。

③園内研修が、前向きな取り組みでありがたい。

他の園にも、この取り組みが広がっていくといいと思う。

平成 25 年度

後期 計画訪問 記録

(小・中学校)

北栄町教育委員会

目 次

11月12日（火）北条小学校	・・・	P 1～4
11月19日（火）北条中学校	・・・	P 5～6
11月19日（火）大栄中学校	・・・	P 7～14
11月27日（水）大栄小学校	・・・	P 15～19

【お願い】

資料は、省略しています。

訪問時に配布された資料をご覧ください。

平成25年度後期 北条小学校計画訪問

日時：平成25年11月12日（火）13：20～16：40

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、磯江委員、岩垣教育長、
西村教育総務課長、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 中島指導主事

1 訪問者日程確認

2 賢くタイム（北条なかよくタイム CCT）及び授業参観

3 学校説明及び懇談会

（1）学校経営等の状況説明 中前校長

（2）あいさつ

福光委員長

年度当初立てた目標・計画に沿って実践してきた様子が子どもたちの姿としてどのように育
ってきているか見たり聞いたりしたい。

中島指導主事

幼保小中連携も進めておられることに感謝する

（3）職員自己紹介

（4）主任説明

<学力向上部> P. 8～9 入江教諭

<生活・学級づくり部> P. 10 定常教諭

<連携部> P. 11～12 川口教諭

岩垣教育長）「評価言」とは何か？

入江教諭）うれしくなる言葉。学習の評価につながるほめ言葉。

岩垣教育長）「ふわふわ言葉」は？

入江教諭）お互いが気持ちよくなる言葉

福光委員長）「北条小の学びのスタイル」とは？

入江教諭）ノートの指導。目あて、まとめ振り返りを書く。

定常教諭）授業の初めと終わりに行う日直のあいさつも。

福光委員長）「まとめ」は、何を出させたいか。

入江教諭）本時おさえないこと。できれば子どもの言葉でまとめたい。板書し、ノートに
記載する。

（5）グループで懇談

（6）各グループでの話し合いのまとめ発表

別紙

4 指導助言

中島指導主事

○めあてと評価の一体化

子どもが、こんなことを学んだという達成感を持つように

○授業研の時に、子どもの変容は、教師のどんなにかかわりどんな言葉かけをしたときに見られたかをみとってほしい。

○ペア学習について

何のために話し合うのか、何を深めるために話し合うのかをしっかりと持って行うこと

岩垣教育長

○今日のように、話し合いの会が持てたことに感謝する。

○校長先生の学校経営説明の後に職員の拍手があった。人間関係がうまくいっていると感じた。

○学力向上県1位を目指す

1年で身に付けさせなければならない力は1年で身に付ける。

15の春を見通して、今担任している子どもにどんな力をつけるのか

少人数学級の良さ…しっかり子どもが見れる。つぶやきが拾える。つぶやきを拾って授業を作る。きめ細やかな指導。

T1とT2の役割をはっきりさせる。

○新しい言葉を使うと、それによってしまい、やっているような気持ちになりがち。新しい言葉は、定義づけをしっかりと共通理解をしていくことが大切である。

グループ懇談会記録

【Aグループ】

① 授業のまとめについて

授業のまとめを子どもの言葉だけではなく、その時間のねらいに沿ったまとめもしていく必要がある。

② ペア学習について

ペア学習のねらいを明確にして活用していく。

- ・ 全体場で発表しにくい児童の話す機会を作る。
- ・ お互いの考えを高め合う手段として使う。友だちの考えから新しいことを学ぶことができる。

③ レーダーチャートの活用について

自分たちのクラスの課題を見つめなおす機会となっている。それを意識した生活を心がけるようになってきた。

④ 授業で子どもたちを変えていくことが大切だ。

【Bグループ】

① ふわふわ言葉について

個人個人の感覚的な部分で思い込みをせず、言葉や数値化することで明確にし、同じことを共有するようにしていくことが必要。そうすることで、子どもとも教師同士も共通理解していける。また、それぞれのクラスで出た考えや取り組みは全校に広げていく。

② あいさつについて

朝の児童玄関や大人に対してはできるが、登校班の中でや教室で子どもたちが自然とあいさつする姿が少ない。

→保護者や地域の方にも積極的にあいさつするよう促し、手本となる姿を大人が見せていくことも必要。

【Cグループ】

① 音読について

小さい時から正しく読むことが大切。学校だけでなく家庭もまきこんで。

② 評価言について

子どもの様子をよくみて、ねらい、実態に合わせて。短い言葉でなるべく多くの子に評

価の声かけ。良い所の紹介。例えば音読についての評価言が何パターンあるかを考える。
新たに気付かせたいことを考えることで評価言も増えていく。

③ ペア学習

ノートをもとにしたペア学習。座席によるペアの工夫。子どもが自分からペア学習がしたいと言えるように。

【Dグループ】

① めあてとまとめについて

子どもの言葉でまとめをすると結局「楽しかった」で終わってしまう。
→子どもの満足感と教師の満足感が違うから。教師が何を評価しているかで、学習の方向性を示すとよい。

② ペア学習・仲間づくりについて

話し合いありきではない。話し合いで何を深めたいか、何を育てたいかが大切。

③ 評価言について

- ・授業中のプリント配布時に、受け取って「ありがとう」の一言があったが、こういう細かな部分を認めていくことが大切。
- ・良い実践を報告し合って、みんなで確認していくとよいのでは。〈評価言集づくり〉
- ・用いた評価言と子どもの反応を分析して、よりよい評価言づくりをしてみてもは。
- ・作って終わりではいけない。その後、どう取り組んでいくかが大切。どんどん使って身につけていかないといけない。

<今後の取り組みに向けて>

- 1 教師自身の笑顔を増やしてうれしくなる言葉かけをする。
 - ・ねらいに沿った評価言や子どもが学習に意欲的に向かえるような評価言づくりに取り組む。
- 2 ゴールイメージを明確にして、授業展開をする。
- 3 関わりあう場を設定し、学び合う関係作りに努める。
 - ・意図的・効果的なペア学習ができるように学習展開を工夫する。

平成25年度後期 北条中学校計画訪問

日時：平成25年11月19日（火）9：00～13：00

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、磯江委員、光村委員、岩垣教育長、
西村教育総務課長、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 西村指導主事

1 福光委員長あいさつ

年度当初立てた目標・計画の取り組み状況を、生徒の姿としてどのように表れているか確認したい。北条中教育について意見交換をしたい。

2 学校経営等の状況説明①

(1) 学校経営 磯江校長 P. 3

(2) 研究の取り組み 研究主任 小谷教諭 P. 6～7

生徒の授業評価を無記名で行い評価の高かった授業を中心に見合う

(3) 人権教育 人権教育主任 山根教諭 P. 6～7

3 授業参観

4 学校経営等の状況説明②

(1) 生徒指導 教務 岡本教諭 P. 8

いじめアンケートの結果を生徒の実態把握と教育相談に生かしている。

(2) 各学年の様子

①3年（学年主任 山本教諭）

○行事に向けてしっかりと取り組み、達成感を持つことができた。

○進路に向けて、放課後学習を始めた。

○チャイムとともに授業を始めるなど、落ち着いて学習に取り組んでいる。

○生徒同士の関わり合い・話し合いもよくできるようになってきた。

○進路相談・教育相談を担当小1対1で行っている。

○週に1回学年便りを発行している。

○不登校生徒の様子…相談室3名、支援センター1名、週2日登校1名、週1日登校1名

学年団や様々な教員がチームで関わり少しずつ改善してきている。スモールステップで目標を持たせ、できたことを確認しながら進める。

②2年（学年主任 松本教諭）

○問題行動あり。学習、生活、部活が充実しているか点検していく

○学習面…基礎基本に自信が持てない。→TTで指導に当たっている。

一人一人が自信をもって生活できるようにしたい。

○行事への取り組み

運動会…力を合わせて取り組めた

文化祭…合唱は、昨年よりもよく声が出るようになった。

修学旅行は、実行委員会を立ち上げ、自分たちで作っていく取り組みにしたい。

○人権学習

「ハンセン病」について

「手話について学ぶ」…ろう者の思いに触れる学習を。職員研修も行う予定。

③1年（学年主任 吉田教諭）

○遅刻欠席なし

○文化祭に向けての取り組みの中で様々なトラブルがあったが、指導のチャンスととらえている。トラブルの中で、「小学校の時、こうだった」という発言がある。

○学習面…平均的な力を持っている。

英語がふたこぶになりつつある。朝自習で基礎基本の繰り返しを。

期末テストに向けて、自主的に学習を進めようとしている。

○生活面…文化祭で、60分の劇を作った。合唱もよくまとまった。

河本長職代理) メディアとの付き合い方について、今データ集めをしているととらえてよいか

磯江校長) 集計したものを「保健便り」で知らせる。何らかの取り組みをしなくてはと考えている。家庭だけに任せておいてよいのかという思いがある。

河本長職代理) いじめアンケートの結果、多かったが、小学校との連携はどうか

磯江校長) 入学前に情報交換をするが、その後も連携している。3・4年生のころの人間関係を引きずっているようである。

河本長職代理) 生徒同士はあいさつをするか

松本教諭) 子どもによる。大人が声をかけた時の反応も様々である。

河本長職代理) 協同学習の場は?

磯江校長) ホワイトボードを使っていた場面。

福光委員長) 数学の授業でのT Tの役割は? T 2は、誤答をぶつけていくと、理解が深まる。

国語の説明文の指導について、小中でいっしょに研究してはどうか。

全国学テの活用について。中学校教員は小6の問題を知っているか。中3の問題を、全職員がといてみる。

磯江委員) 生徒が本当に理解しているか、確認をしてほしい。

学期末等の懇談の時だけでなく、途中にも学習状況について保護者に連絡をしてもらえるとありがたい。

宇都宮大学松本教授の授業評価はどうだったか?

岡本教諭) つぶやきが拾えるようになった。話し合う場でのテーマ設定が次の課題だと指導された。

光村委員) 以前、発言は、挙手をし、指名された時に行うものだったが、本日の授業の中では、座ったまま口々に話していた。あれでよいのか。

福光委員長) 生徒に聞く体制ができていないのに、話す教師がいた。

岩垣教育長) 授業改善に取り組んでいるが、基本を大事に。授業を見合い切磋琢磨する。

5 指導助言 西村指導主事

○たがいに授業を見合うことが授業力向上につながる。

板書、発問など

○授業の中に「振り返り」を入れること

○持ち味を出しての授業、工夫を。

○学習指導要領のどこに位置づいているか確認すること。

平成25年度後期 大栄中学校計画訪問

日時：平成25年11月19日（火）13：30～16：40

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、磯江委員、光村委員、岩垣教育長、
西村教育総務課長、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 小田指導主事

1 福光委員長あいさつ

年度当初立てた目標・計画の取り組み状況を、生徒の姿としてどのように表れているか確認したい。

2 学校経営等の状況説明①

(1) 学校経営 岡本校長 P. 2

○授業の質の向上

ねらいを明確に

中心活動に静と動氏の関わりを

I C Tなどの教材教具の活用

指導と評価の一体化が課題

○いじめ調査から見えてきたこと

「ライン」等携帯電話のトラブル

無記名調査だからこそ明らかになった事例、しかし、無記名だから即対応できない。

○不登校生徒

30日以上5名。(3年2名生、2年生3名)…児童相談所や町と連携をしていく

7日以上10名

○Q U調査…分析についての職員研修を行う

○通常学級に在籍する支援を要する子どものトラブルがある。特性をどう理解させるかが課題である。

(2) 生徒指導 真山教諭 P. 13～14 大栄中便り裏面

毎週水曜4限に 生徒指導委員会・不登校対策委員会を開催

資料を作成し、それをもとに話し合いをする。

福光委員長) 家庭科・美術等中学校教員が小学校に出かけていく取り組み(専門性を生かした小中連携)を行っているか。

小学校の運動会の組体操、学習発表会の6年生の合唱を見ているか。小学校の取り組み、子どもの姿を見ておくことは大事ではないかと思う。

河本長職代理) 生徒同士のあいさつはされているか

岡本校長) 生徒会が玄関に立っている時はしているが、普段はできていない。

3 授業参観

4 学校経営等の状況説明②

(1) 新教育課程に基づいた取り組み 教務 武田教諭

○時間数の確保。道徳年間 35 週の確保に努めている。

24 項目のうち、学校の重点項目をもう一度洗いだしていく予定。

○学習指導について

「活用する力」を意識した取り組み

意欲を持てる授業の工夫、家庭学習とつながるための工夫

○学級活動の時間が膨らんでしまった（年度当初、行事の前後）

5 人権教育 人権教育主任 山下教諭

P. 15

6 研究の取り組み 研究主任 萬教諭

○授業力の向上に向けて

めあて・授業の流れの提示、学び合い・話し合いの場の設定

授業をたがいに見合う取り組み

教師のセルフチェック P. 17

QU かかわりのスキル P. 18

福光委員長) 思考するには、何をよりどころに考えさせるか。「考えなさい」と言われても、よりどころとなるものがなければ考えられない。

福光委員長) 「セルフチェック」の「時間通りに授業はじめ、終わっている」「本時のねらいや学習の流れを明示して授業を始めている」の結果をどう見るか。これらについては、全員 4（できている）に持って行ってほしい。

岩垣教育長) 「今後の取り組み」（いつ、何をするか）を職員に示す。研究推進もスモールステップにすると取り組みやすい。

7 懇談会…別紙

3 つのグループに分かれ「学力向上における各教科の現状・課題と課題解決の具体的な取り組み」について協議

11月19日 小・中学校計画訪問懇談会

テーマ・・・学力向上における各教科の現状・課題と課題解決のための具体的な取組

教師

教師が学習するのではなく、学習するのは生徒。学習の主体は生徒

※話し合い・学びあいの現状

- ・ペア、班と様々な形態で授業が行われている。
- ・ホワイトボードの利用も進んできた。
- ・話し合いも活発に行われているが、コミュニケーションの量から質への転換を
- ・班学習が、単なる作業の場となっている。
- ・新たな気づきや練り上げの場となっていない。

原因の一つとして

生徒：課題意識、目的意識

教師：深く問う質問をしていない。一問一答

しゃべりすぎ、

※学力向上に向けて

- ・めあて、流れを具体的に示す。課題が終わった時の手立てまで与えてやるなど、今やるべきことがはっきりすれば、生徒は自主的に学習するのでは。
- ・考えさせる時間をしっかりもつ。
- ・授業のポイント、今伝えたいことは、焦点をしばって生徒に示す。
(プロジェクターや掲示物利用)
- ・声の強弱、リズム、テンポなど授業が平坦にならないよう、山場をつくる。
- ・家庭学習の定着に向けて
自学の取組は良い。やらせっぱなしではなく指導を加えたり、ノート鑑賞をしたりと、努力をみとめてやることで意欲の喚起をはかる。
- ・成功体験を様々なところで経験させること、また教師が生徒のがんばりを見つけて評価してやることで、学校生活に意欲的になり、学力向上につながっていくのでは・・・。

指導助言

○ 小田指導主事

幼児教育から



生徒が主体的になって学ぶ場 ペア学習、グループ学習
 コミュニケーションの量は増えているが、質を高めていく
 どこに、どんな意図をもって

表面上は問題のないような生徒でも、内面では色々な問題を抱えている。
 アンケートなどで生徒の実態を把握し、指導に役立てていって欲しい。

○ 岩垣教育長

① 研究推進は教師力を上げるためのもの

それが、生徒の学力向上につながってくる。

そのためにも、自分たちで決めたこと、共通実践事項は確実に実践する。

セルフチェックだけでは甘えがでる。そのために共同実践でお互いチェックを。

② 懇談会での印象的なことば

がまん、待つ、引き出す、言葉をひろう

懇談記録は別紙

テーマ 学力向上における各教科の現状・課題と課題解決のための具体的な取り組み

Ａグループ

数学(真山)… 練習の時間の確保 授業50分中25分理解している

家庭学習の時間が少ない(家庭での生活規則が課題)

長見(保健)… 体力向上 3年0.1年口…

音楽と体育運動(意欲向上→体力向上)

アット運動と終え、今 バスボール

2年は昨年の音楽と体育運動をやっているの、慣れなくていい。

中村(社会)… アフリカのイメージを調べているが…

資料の考察、説明力、表現力をつけてほしい。

テストのヒック地方… 目標設定、テスト後振り返り。

宿題のヒック地方。

原田(英語)… 3-1に設定しての各プログラムがある。

課題 DVDの活用、選定

矢田(国語)… 古典に対する弱さ、とつては、子供は機会少ない。→ 子供は機会を多くしたい。

自分の意見、考えを多く出す → 思考力、文章表現力も各単元で取り入れる。

班活動、かわり、おいてもらう

生徒の興味と関心、1つは文章を、2つは読書でやる

福光(教科指導)

少人数級、ITを有効に活用したい。

科目のねらいの定着、本校の環境・条件に合わせた指導

授業のリスム、テスト、ライティングの力をつける。生徒がどのくらいの子なのか。

光村(国語)

1人で真面目(代弁者として)。自分1人でやっている。

見方によっては
おもしろい。発言力が乏しい

小田(指導主事)

発言の機会を多く → 真山: 順番にあてていく。

(自分から発言したい)

教材ポッドの活用

指導則言

小田指導主事

意欲 → やり出し → やり切る

学びたい 学びたい 学びたい

生徒が主体的に学ぶ学校

学びたい、学びたい、学びたい → 質を高める

と、いふことで、学びたい

見える部分と見えない部分 (PPT)

若田教育長 (3点)

○ 学力向上について... 指導力向上のため、学びたいと共通実践する

① 学びたいと共通実践する

② 学びたいと共通実践する

○ 学びたい、学びたい、学びたい、学びたい

○ 学びたい、学びたい、学びたい、学びたい

ようす 先生	美術	2年遠征回	手順、確認と具体物の提示、見直しを立てず
	学力向上の取り組み	計算の定着をはかる	授業のハイターンをきめている
		全学年でテストの反響をいかに思考力のつげの工夫	
		(班ごとフリーにききあい、教えあい)	
	家庭学習	いかにたこと以外しないことにはかかせ	自分よりすすんでやる生徒のいない
	西田 直	コミュニケーションをとる場、経験する場所の提供していかねばならない	
	ヤロト 国	ノートづくりの活用	ノートもとりきれない生徒のためにワークシートの作成
		NRTの弱点として古典のあたの下力を入れている	
		思考力、読解力がよくなる。新聞活用	新聞コンクールへの挑戦、意欲
		漢字テストを定期的に行い、大きな声を出すために	
	西本 理	1人1実験をさせている。(とんぐり)	
		実験の失敗理由を文章で	
	青木 伸	やれば出来るという経験をさせることと学力向上につなげる	
		教えあひ、かかわりあひを大事にしている。	
	人しにほとに集中して授業の最をきいているのではない。		
	ヤロト	授業以外、Xや調をつくらせ生徒にかかわっている。	
	拡大投影機、なとICT活用の仕方	教員の意図の明確さと生徒の意欲をかきたてる	
	めあてと学習のめあての場を統一してみれば、生徒にしてみてもわかりやすいのでは。		

Cグループ

テーマ「学力向上における各教科の現状、課題と課題解決のための具体的な取り組み」

意見交換

磯江教務委員：活気ある授業が見られるクラスが見られ出した。

西村課長：待ち考える時間も与られているのが良かった。

理解度について、どう取り扱っているのか、振り返りシートの活用方法。

桑本指導主事：理科の授業風景が、のどこである。どうしやるのか、授業の前に
いれたい。理解度の中で身につけていく設定をどう仕組むのか
教員全員が共通理解をし、仕組むことが望ましい。

○ 理解度をどう図っているのか？ 振り返りシートの活用方法

仲村→^{前の授業内容を}授業前に5分間クラスを実施している。(数学)

武田→ワークシートの活用、自己評価に活用している。(理科)

妙泉→本日の学習課題はどうか？ 自分の振り返りをする。(社会)
不安のある子には、小テスト実施

六尾→実習時間重視。やったことを文字に記させるようにしている。カード使用
初めてする場合の技能については、練習してからやらせている。(技術)

田熊→小テスト実施。導入テスト、15分学習の振り返りをさせる。
机間巡視、子どもたちの様子を把握する。(国語)

○ 課題・課題解決に向けて取り組んでいること

武田→話し合いがうまく成立するように工夫している(もしも方をどう仕組むか)
人間関係をいい循環にさせていきたい。

妙泉→。班でホワイトボードの活用仕方、グループによって差が出てしまう。
課題の設定が必ずしも(公民・道徳が高)

新聞の社説を一読するきっかけになるのでは？(磯江委員)

田熊→矢張り語句を早く来る(宿題?)後で考え、効果的(国語)
「記事記」の調べ学習～生徒のよがなな/コル、やってよかったのでは。

武田→発言は苦手だが、書(作業)は得意。今の3年生には、合っているのか?
ことばで説明するのかが、

○ 家庭学習の定着について (西村課長)

- ・ICTメディア等の取り組み等はない。(田熊)
- ・啓発はない。もう一歩ふみ込んで、どう使うのか? 指導が必要。(武田)
「アイパッド」ベネッセコポレーション無料配布。広報部でのアンケート、リタイ保持しているのが調査実施。1年生の保持者が多かった。(武田)
- ・途中休んでいる生徒が一部いる。(1年生の中で) 田熊

宿題

- ・同じ類題を宿題として出す。(数学)
- ・きちんと計画に組み込んでいるので、一つの単元が終わったらする。(国語)
- ・宿題、15分以内の問題を5分としている。(国語)

○ 教育委員会への要望について

- ・国数のデータベースについて、合わせてほしい。(国語)
- ・Z-STREAM、グッドアップする予定 (武田)
- ・教室にアナログテレビがまだ置いてあるので、新しいものに...。(田熊)

平成25年度後期 大栄小学校計画訪問

日時：平成25年11月27日（水） 13：30～16：45

出席者：福光教育委員長、河本長職代理、磯江委員、光村委員、岩垣教育長、
西村教育総務課長、桑本指導主事、岩田指導主事
中部教育局 河田指導主事

1 福光委員長あいさつ

大栄小学校は、算数科を中心に習熟度別学習の取組や学級力の取組を進めてこられた。その進捗状況を授業を通して見たい。

2 学校経営等の状況説明①

(1) 研究について 研究主任 河本教諭 P. 4～8

河本長職代理)「かけ橋問題」とは？

河本教諭) 主問題と練習問題をつなぐ問題

(2) 生徒指導 絹見教諭 P. 9～11、別紙様式

福光委員長)「すでにやっている学級もあるが」と説明にあったが…。

すべての学級でやるべきではないか。

3 授業参観

4 学校経営等の状況説明②

(1) 教育課程の実施状況 福井校長 P. 3

(2) 人権教育 福井校長 P. 12

(3) 学校経営 福井校長 P. 2

<やさしく>

○トラブルを話し合いによって解決したという経験を大切にしたい

<かしこく>

○算数の少人数指導を核としながら、他の教科へ広がっている。

算数に取り組む中で、全国学力・学習状況調査のB問題が伸びた。また、自分の考えを書く、話す力が育ってきた。

<たくましく>

○安易に学校を欠席する、病気にかかりやすい傾向にある。

*年度末に向けて、さらに次のことに力を入れて取り組んでいきたい。

学力向上・学級づくり・特別な支援が必要な児童への対応

福光委員長) チャレンジタイムについて。普段の授業との連動を考え中身を決めていくことが大事だと考える。

先日訪問した倉敷の土堂小学校は、モジュール学習に取り組んでおり、「スピード、

テンポ、タイミング」を大事にしている。これは、45 分の授業でも大切だろうと考える。メリハリのある授業になればと思う。

福光委員長) 先日、大栄中学校計画訪問の際に、校長先生から「言葉の数を増やす」「新しい情報を取り入れていく」ことが課題だという話があった。これは小学校に通じるところ。

また、一つの小学校から一つの中学校に進学するため、人間関係ができていると考えていたが、現実には、人間関係に課題があるということだった。小学校の取組として、学級の差があるのではないかと。学年として伸ばし高めるという意識はどうだろうか。学級力の取組も学級差が出ないようにしたいものだ。教師同士も学びあうことができたなら差が小さくなるのではないかと。

福井校長) 環境が変わったときに、自分を表現することができる力を育てていく必要を感じている。言わなくても通じてしまう仲間だという意識があるのではないかと。

河本長職代理) 習熟度の学習を見ていて、教師一人では個に対応しきれないのでは?と感じた。

福井校長) 友達同士の教えあいも大事にしている。

コースによって、授業の流れを大きく変えている

学びあうためには、完全習熟度になると難しい面もある。

今は、学級を2つに分けているが、今後、学年を4つの習熟度に分けることも考えている。

福光委員長) 算数科を通して学級を解いていくと、学級差も埋まるのではないかと。

磯江委員) 「力がついているか」、確認はどのようにしているか。

福井校長) 毎時間、評価問題まで必ず進むように努めている。評価問題まで進むと、今日の学習が身についたか評価できる。

コース別担当者が、毎時間の状況を確認しながら進めていく。

光村委員) 「学びあい」を視点に、授業参観をした。

道徳の学習で、子どもが次々に発表し、教師はそれを板書していたが、誰かが発表したことを取り上げ、それについて意見を出し合い膨らませていくのが学びあいではないかと。

読書指導について。「本を読んで、どんなことに気付いたの?」などと問いかければ、学びあいができるのではないかと。

5 懇談会…別紙

3つのグループに分かれ「学力向上における各学年の現状・課題と課題解決の具体的な取り組み」について協議

6 学校からの要望

- 教室に掲示物を貼る場所がほしい。
- 各学級にプロジェクターの設置をお願いしたい。
- 少人数学級、少人数指導の加配をお願いしたい。
- 教材備品費の増額を。
- 音楽室のオルガンの撤去と、机椅子の購入を。

7 指導助言

中部教育局 河田指導主事

○「生きる力」、「自立につながる力」をつけているか

例えば、話す・聞くの学習規律。

将来たくさんの人とコミュニケーションを図っていく力をつけていく必要がある。だから、「話す人は、聞く人を見て話す」という学習規律を大事にする、というように。

○活用する力をつけるには、授業の中で活用する場面を設定する。

○板書、声のかけ方、発問など、教師同士も学びあいを。

岩垣教育長

○連携について

交流をした後に、どんなことを得たのか検証し、他の学年にも広げてほしい。

実際に見たり聞いたりすることで、子どもの育ちがつながる。

○少人数学級の良さをまとめてほしい。

○中学校で、「教師が話しすぎない」ことを目指しているが、小学校でも、教師が話しすぎてはいないか。子どもが考え話し合うために、発問をしっかり検討する必要がある。

8 あいさつ 福井校長

○効果や結果を出すのは大事だが、活用をどのように見ていただけるか。

○子どもの力を伸ばすために、全職員で力を合わせていきたい。

平成25年度 後期計画訪問 記録 (11月27日実施)

(校長室での説明の時の話、懇談会での話の抜粋)

福光教育委員長 (Aグループ)

- ・広島に視察に行ったがそこでモジュール学習(国語・算数・社会)を参観した。大切なのは、スピード・テンポ・タイミング。これが45分の授業にも表れる。メリハリのある授業を!
- ・チャレンジの内容と普段の授業とをどう関連づけるのか。関連性を意識しながら積み上げる
こと。
- ・言葉の数を増やすこと。新しい情報をいかに身につけさせるのか。
- ・小学校で、学年としてここまで伸ばすということをはっきりさせる。お互いのクラスのいいと
ころを学び合う。学年みんなで子ども達を育てていくことが大切ではないか。
- ・小学校の時の学習が中学、高校の基礎になる。たとえば中学校で説明文が苦手と聞くが、文章
の構造的なことは、小学校3、4年でもやっている。学年が進むと内容がむずかしくなるが…。
構文を押さえることをあいまいにしない。それも狭い意味の生きる力だと思う。このこととこ
のことがつながっているということを意識させてほしい。
- ・学級一学年一学校一町と同じ目標でつながっていくことが大切。
- ・クラスパワーの取組がいい。クラスの話し合いをすることで「良くなった」という経験を積み
重ねていくこと。
- ・個人差についても、特別支援の視点からの学習方法を取り入れてやることも大切。
- ・先生方がいろいろ工夫されているし、努力されている。
- ・総合的な学習などの年間を通しての学びの提示があってもいいと思う。

光村教育委員 (Aグループ)

- ・学び合いを大切にしているということだが、子どもと先生とのやりとりではなく、子ども同士
の話し合いが大切ではないか。
- ・子ども達が将来をどうやって生き抜くか、その生きる力を養う工夫をしてほしい。
- ・けんかをして傷ついたり傷つけ合っても仲直りする力をつけたい。自分たちで解決することを
大切にしたい。

河本教育委員 (Bグループ)

- ・生き生きとした活動が見られた。
- ・教師は児童の反応が悪い時は、教員側の伝え方を変える必要があると思う。
- ・45分の授業の中で力を入れる時と力を抜く所のメリハリがいるのでは? 授業のリズム・テン
ポ・遊び。きめ細やかな仕事・指導とはどんなことがあるのか?

岩垣教育長 (Bグループ)

- ・少人数学級のよさは自分らしさを創っていくのに有効。
- ・1つの学年の取組を全学年のものとする機会を！
- ・こども園や中学校などと連携をしているが、交流した後にどんなことを得たのか他の学年にも伝えてほしい。
- ・小学校でも授業中、いろいろなことをしゃべる人（教員）がいる。授業はシンプルに！

磯江教育委員 (Cグループ)

- ・授業にリズムとテンポがほしい。同じ調子で進んでいる。
- ・保護者との連携が大事。子どもがどこでつまづいているか分かるよう、プリントの持ち帰りや伝え方の工夫。
- ・管理棟に掲示物が少ない。2階管理棟は暗い感じ。

河田指導主事 (Cグループ)

- ・懇談会で先生たちの考え方が伝わってきてよかった。
- ・懇談を通して先生同士も学び合える。
- ・学力向上は低位の子を上げるのではなく、全体的に上位も上げる。そのためには、学び合いが大事。苦手な子をどうしようではなく、全体をどうしようという考え方で。
- ・生きる力をつける。今の時代に合った生きる力とは？社会で自立して生きる力とは？そこにつながる力を小学校のそれぞれの学年で身につけているか？
- ・学習規律の面が気になった。話し方、聞き方の面で、たくさんの人と話す力をつける。みんなの方を向いて話す。
- ・学び合い…まずは隣同士でスタートしてみる。子ども同士でということも仕組む。知識・知恵を教えることも仕組む。持っている力を使う力を身につける。

桑本指導主事 (Cグループ)

- ・個別指導が必要な子はどのクラスにもいる。個にあたりながら全体指導。感謝している。
- ・ものの操作が下手。こども園に伝える。保護者の啓発も大切。苦手場面をチャンスにかえる。
例えば、はさみを使ってみる。飾りを作ってみせるなど。
- ・繰り返しも大切だが、初読も大事。
- ・漢字練習は漢字ドリル活用もいいけど、文章の中から抜き出しも有効。
- ・計算力…どんどんさせる。わり算100問 2桁÷1桁で余りあり。紹介します。

教育委員会関係

施設台帳

★平成24年までに耐用年限到来

▲今後5年以内に耐用年限到来

	修繕計画	今後10年間に修繕必要	施設名	構造	床面積 ㎡	建設年度	耐用年限 年	耐震改修 実施状況	担当課
15			★北栄町北条体育館	鉄骨造2階建	1,362	昭和50年度	平成21年	未実施(H23診断済み)	生涯学習課
16			★北栄町大栄体育館	鉄骨造2階建	1,497	昭和51年度	平成22年	未実施(H23診断済み)	生涯学習課
17	取り壊し		★北栄町大誠体育館	鉄骨造平屋建	598	昭和39年度	平成10年	未実施	生涯学習課
18	取り壊し		北栄町勤労者体育センター	鉄骨造平屋建	852	昭和61年度	平成32年	不用	生涯学習課
19			北栄町北条ふれあい会館	鉄筋コンクリート造2階建(1階部分)	1,621	平成6年度	平成53年	不用	生涯学習課
20			北栄町大栄ふれあい会館	鉄骨造2階建	930	平成2年度	平成36年	不用	生涯学習課
21			北栄町北条野球場	鉄筋コンクリート造平屋建	143	昭和62年度	平成46年	不用	生涯学習課
22			北栄町大栄野球場	鉄筋コンクリート造	361	平成6年度	平成53年	不用	生涯学習課
23			北栄町B&G海洋センター	鉄筋コンクリート造2階建	1,720	平成元年度	平成47年	不用	生涯学習課
24			大栄文化センター	RC2階建て	593.25	昭和59年度	平成46年	不用	生涯学習課
25			大栄文化センター(増築)			平成13年度		不用	生涯学習課
26	譲渡		北条文化会館	RC平屋建て	203.02	昭和59年度	平成46年	不用	生涯学習課
27	譲渡		〃(増築)	鉄骨造平屋建て	123.38	平成12年度	平成50年	不用	生涯学習課
28	譲渡		★北条文化会館車庫	木造平屋建て	11	平成元年度	平成22年	不用	生涯学習課
29	譲渡		大野児童館	RC平屋建て	187.28	昭和55年度	平成42年	未実施	生涯学習課
30			北栄町図書館	鉄筋コンクリート2階建	1,475	平成5年度	平成55年	不用	生涯学習課
31			中央公民館	鉄筋コンクリート造2階建	1,739	昭和54年度	平成40年	未実施	生涯学習課
32			北条民芸実習館	鉄骨造2階建	312	平成2年	平成36年	不用	生涯学習課
33			中央公民館大栄分館	鉄筋コンクリート一部2階建	1,130	昭和46年	平成33年	未実施	生涯学習課
34			北条歴史民俗資料館	RC1階建て(一部2階建)	420	平成元年	平成50年	不用	生涯学習課
			北条小学校					不用	教育総務課
51		×	管理・教室棟	鉄筋コンクリート建	3,096	平成21年度	平成68年	不用	教育総務課
52	様子を見る	△	教室棟①	鉄筋コンクリート建	777	平成2年度	平成49年	不用	教育総務課
53	様子を見る	△	教室棟②	鉄骨建	113	平成2年度	平成36年	不用	教育総務課
54	7(要調査)	○外壁	特別教室棟	鉄筋コンクリート建	1,099	昭和60年度	平成44年	不用	教育総務課
55		×	渡り廊下	鉄筋コンクリート建	42	平成21年度	平成68年	不用	教育総務課
56		×	屋内運動場	鉄骨建	1,391	平成14年度	平成48年	不用	教育総務課
			屋外プール	CB・FRP	127	平成15年度	平成45年		教育総務課

・教育関係施設の長期的改修計画について

			大栄小学校						教育総務課
57	3(要検討)	○全体	管理・教室棟①	鉄筋コンクリート建	2,364	昭和48年度	平成32年	済	教育総務課
58	3(要検討)	○全体	管理・教室棟②	鉄筋コンクリート建	312	昭和59年度	平成43年	済	教育総務課
59	3(要検討)	○全体	管理棟①	鉄筋コンクリート建	1,960	昭和49年度	平成33年	済	教育総務課
60	3(要検討)	○全体	管理棟②	鉄筋コンクリート建	460	昭和50年度	平成34年	済	教育総務課
61	3(要検討)	○全体	昇降口	鉄筋コンクリート建	451	昭和49年度	平成33年	済	教育総務課
62	3(要検討)	○全体	渡り廊下	鉄筋コンクリート建	119	昭和50年度	平成34年	済	教育総務課
63	6(要検討)	○全体	★屋内運動場	鉄骨建	1,029	昭和50年度	平成21年	済	教育総務課
	1(3年実施)	○改築	屋外プール	鉄筋コンクリート		昭和50年度	平成17年		教育総務課
			北条中学校						教育総務課
64	3(5年以内)	○外壁	普通教室棟	鉄筋コンクリート建	1,532	平成6年度	平成53年	不用	教育総務課
65	3(5年以内)	○外壁	特別教室棟	鉄筋コンクリート建	3,069	平成6年度	平成53年	不用	教育総務課
66	3(5年以内)	○外壁	技術室棟	鉄骨建	280	平成6年度	平成40年	不用	教育総務課
67		×	屋内運動場	鉄筋コンクリート建	1,505	平成6年度	平成53年	不用	教育総務課
		×	屋外プール	鉄筋コンクリート	238	平成7年度	平成37年		教育総務課
			大栄中学校						教育総務課
68	5(要検討)	○外壁	★普通教室棟①	鉄筋コンクリート建	1,023	昭和39年度	平成23年	済	教育総務課
69	5(要検討)	○外壁	★普通教室棟②	鉄筋コンクリート建	719	昭和40年度	平成23年	済	教育総務課
70	5(要検討)	○外壁	★管理・特別教室棟①	鉄筋コンクリート建	2,004	昭和40年度	平成23年	済	教育総務課
71	5(要検討)	○外壁	▲管理・特別教室棟②	鉄筋コンクリート建	36	昭和43年度	平成27年	済	教育総務課
72		×(一部済)	生徒昇降口	鉄骨建	408	平成18年度	平成42年	不用	教育総務課
73		×(一部済)	技術教室棟	鉄骨建	310	昭和62年度	平成33年	不用	教育総務課
74		×	屋内運動場①	鉄筋コンクリート建	1,534	平成5年度	平成43年	不用	教育総務課
75		×	屋内運動場②	鉄筋コンクリート建	262	平成5年度	平成43年	不用	教育総務課
76		×	武道館	鉄骨建	944	平成元年度	平成34年	不用	教育総務課
	2(5年以内)	○改築	屋外プール	鉄筋コンクリート	2,450	昭和42年度	平成9年		教育総務課
77		×	給食センター	鉄骨造・平屋建	958.11	平成22年度	平成53年	不用	教育総務課
78			北条こども園	木造一部RC平屋建	2,181	平成23年度	平成45年	不用	教育総務課
79	改築	○	由良こども園	RC平屋建て	973	昭和61年度	平成43年	不用	教育総務課
80	改築	○	大誠こども園	木造一部RC平屋建	1,330	平成16年度	平成38年	不用	教育総務課
81	取り壊し		大谷保育所	RC平屋建て	592	昭和57年度	平成41年	不用	教育総務課
82	取り壊し		中央保育所	RC平屋建て	848	昭和55年度	平成39年	未実施	教育総務課
83			東保育所	RC平屋建て	455	昭和59年度	平成43年	不用	教育総務課